



CyberGate

©1996-1997, Tomohiko Shimizu as pooh, ALL RIGHTS RESERVED.

ソフト名 : CyberGate 3.6.2 インターネット PPP ツール (ppc)

配付方法 : シェアウェア (¥1,000 /シェアウェア送金代行サービス#2868)

転載方法 : 転載可 事前にメールにて許諾

作者 : 清水 友彦 / MHF00152

掲載者 : 同 上

動作環境 : MacOS 8 以上の日本語を表示可能な PowerPC 環境

TCP/IP 環境(OT/PPP, FreePPP) , InternetConfig 2.0 以上

開発環境 : Power Macintosh G3 MT 266 (MacOS 8.5 日本語版)

iMac (MacOS 8.5 日本語版) , リモートアクセス J1-3.0

Open Transport J1-1.3, OT/PPP J1-1.0.1

FreePPP 2.6.2, Internet Config 2.0, Speech Manager 1.5

開発言語 : CodeWarrior IDE 3.1 (Pro3)

圧縮方法 : StuffIt Deluxe 4.5 自己解凍ファイル

汚染対策 : Norton AntiVirus 5.0.1

コメント :

PPP 接続でインターネットへのアクセスをしていると、毎回 TCP やアカウントの切替・ 時間監視ツール等を個別に起動しなければならず、意外と面倒な感じですよ。こうした諸機能がひとつのツールにまとまっていて、実際に必要な部分だけをウィンドウ上で操作できないかと思ってしまうのは私だけではないはずです。

CyberGate がサポートする主な機能は以下のとおりです。

- 1) Open Transport API に完全対応しています。
- 2) 状況や用途に応じた 2 段階のウィンドウ表示をサポートしています。
- 3) TCP,アカウント,モデム,ロケーションの各設定を切替可能です。
- 4) サーバーへの接続・切断がワンタッチで操作可能です。
- 5) 関連のソフトや書類を 10 種類まで起動または開くことができます。

6) インターネット接続・切断をアイコン表示・効果音で確認できます。

7) OT/PPP, Internet Config, FreePPP の各 API に対応しています。

8) 以下の機能をプロバイダ毎に設定し利用可能です。

接続時間管理が可能です。(リアルタイム・月単位累計)

プロバイダとの契約内容に応じた利用金締め日を接続時間の管理に適用できます。

任意の時間間隔によるアラーム機能を利用できます。

パスワードセキュリティ機能を利用できます。

手元で関連ソフトを起動するラUNCH機能をサポートしています。

サーバー接続時に特定のソフトを自動起動する機能を提供します。

設定ファイルを個別に保存することにより容易なメンテナンスを実現しました。

操作のウィンドウの表示位置を記録します。

9) 操作パネルを好みの仕様に変更するカスタマイズ機能を提供します。

10) メールチェック, 時刻調整, ブックマーク作成機能を提供します。

CyberGate ㊦ 1996-1998 Tomohiko Shimizu as pooh, All rights reserved.

Universal PPP Interfaces ㊦ 1997,1998 Sailmaker Software Ltd. All rights reserved.

1. ネットワーク環境の設定手順 (MacOS 8.5 純正 PPP 編)

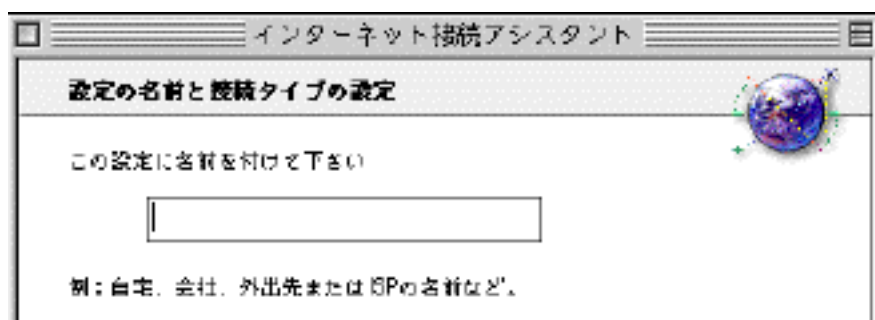
MacOS 8.5 では"インターネット接続アシスタント"を用いてインターネット環境をセットアップできます。



(1) "インターネット接続アシスタント"("アシスタント"フォルダ内)を起動後、トップページに続き上記の画面が表示されます。既にプロバイダと契約している場合は、「はい」ボタンを押下後、画面の指示に従って設定を行って下さい。

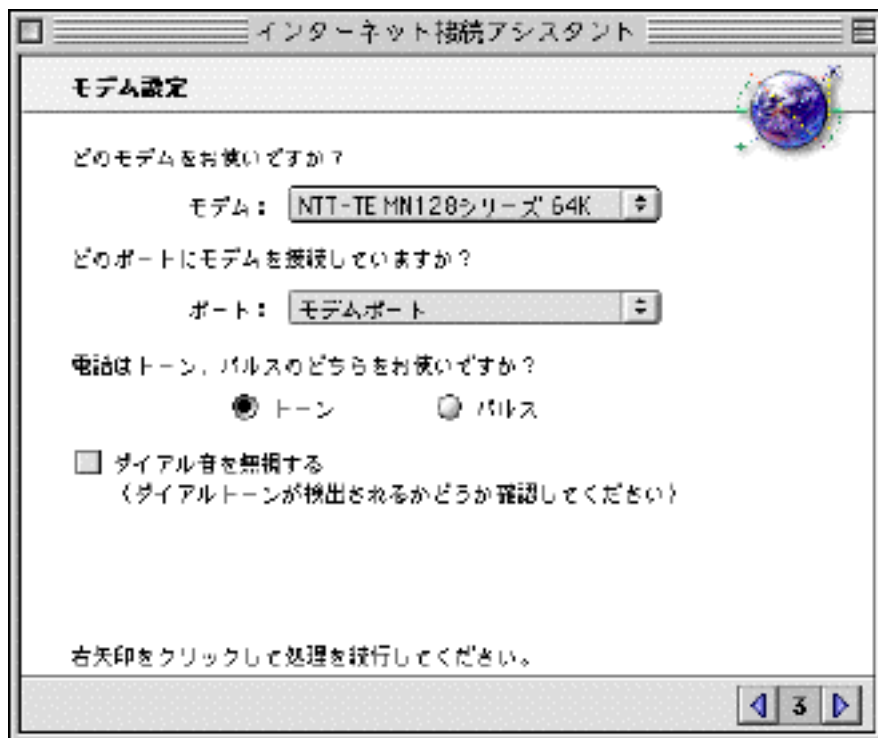
(2) 設定手順の2ページ目では、設定名称を入力する必要があります。

同項目に入力した名前は、CyberGateのアクセス情報を設定する際に重要な意味を持ちます。複数のプロバイダ情報を設定する場合には、判別しやすい名前を付けるようにして下さい。



(3) 設定手順の 3 ページ目では、モデム種類を設定する必要があります。

同項目で設定したモデム種類は、CyberGate のアクセス情報を設定する際に重要な意味を持ちます。



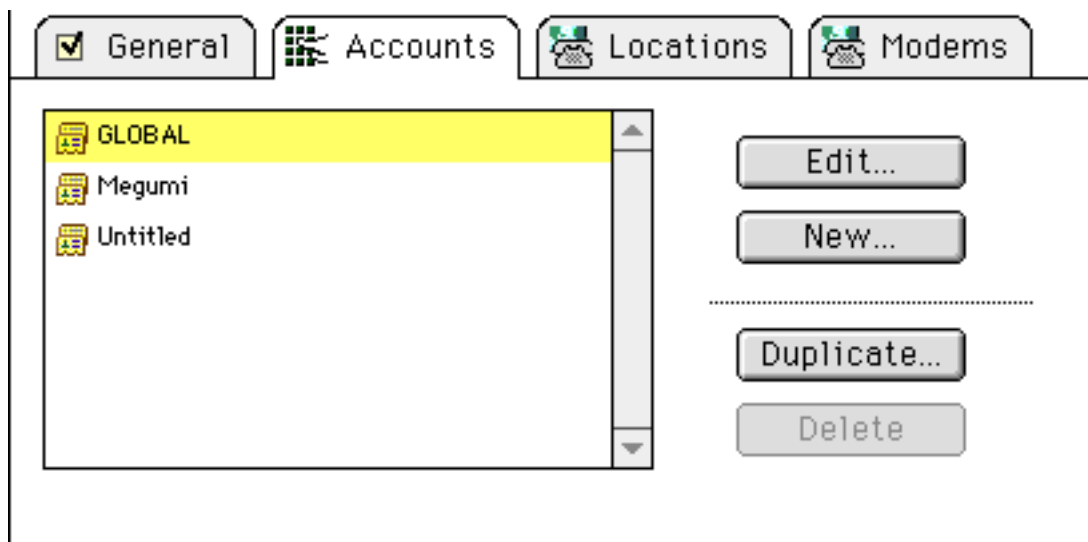
2. ネットワーク環境の設定手順 (FreePPP 編)

FreePPP を利用する場合には, "FreePPP Setup" でセットアップを行います。

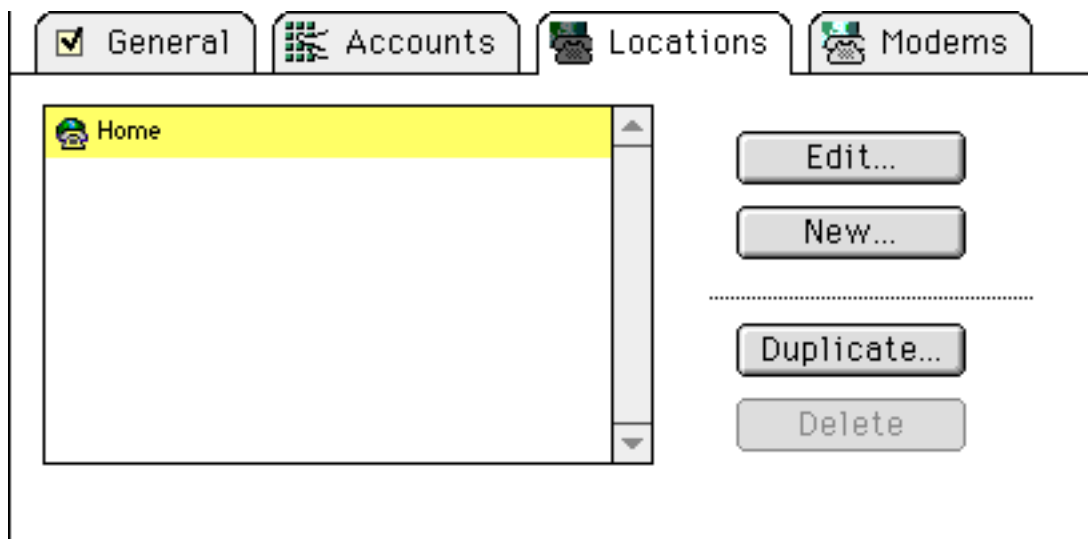
純正(MacOS 8 標準)の PPP は"インターネット接続アシスタント"でセットアップできますが,FreePPP の場合は個別に"FreePPP Setup"を用いる必要があります。なお, TCP/IP の設定値に関しては両 PPP で共通に利用できますが,一部選択すべき項目(後述)がありますので注意して下さい。



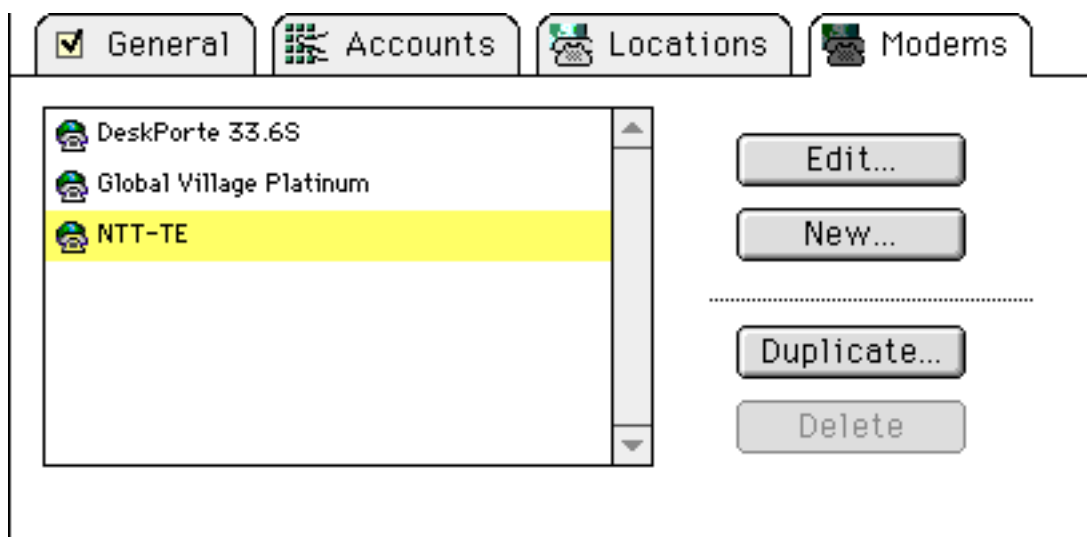
- (1) "Accounts" タブをクリックした後, アカウント情報を設定します。FreePPP では同画面で複数のアカウント情報を設定できます。CyberGate のアクセス情報の設定では, 各設定名が重要な意味を持ちますので, 区別しやすい名称で設定して下さい。



- (2) "Locations"タブをクリックした後、ロケーション情報を設定します。FreePPP では同画面で複数のロケーション情報を設定できます。CyberGate のアクセス情報の設定では、各設定名が重要な意味を持ちますので、区別しやすい名称で設定して下さい。

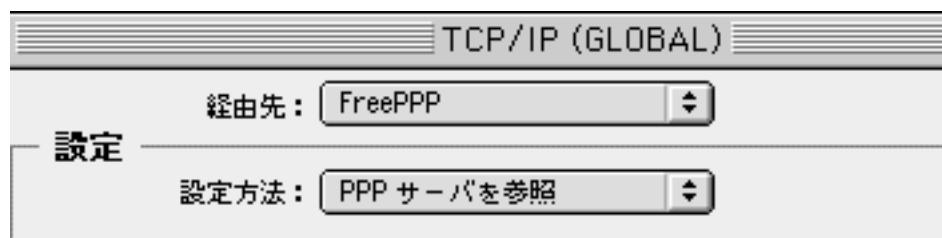


- (3) "Modems"タブをクリックした後、モデムコマンド情報を設定します。FreePPP では同画面で複数のモデムコマンド情報を設定できます。CyberGate のアクセス情報の設定では、各設定名が重要な意味を持ちますので、区別しやすい名称で設定して下さい。



(4) "TCP/IP"設定画面上で FreePPP を選択して下さい。

"経路先"ポップアップメニューで"FreePPP"を選択しておかないと、常に純正の PPP による接続が実行されますので注意して下さい。



3. アクセス情報の設定手順

以下，CyberGate におけるアクセス情報の設定に関し説明します。

CyberGate では，複数のプロバイダ契約やモバイル環境を想定し，個々のネットワーク環境を「アクセス情報」として管理します。例えば，A プロバイダでは純正 PPP で ISDN 接続し，月末締めによる課金管理を行い，B プロバイダでは FreePPP でモデム接続し，1 日締めによる課金管理を行いたいとすれば，A,B それぞれのアクセス情報を設定し，任意に切り替えることができるわけです。

(1) CyberGate を起動後，「ファイル：新規アクセス情報」メニューを選択して下さい。

なお，初めて CyberGate を使用する場合は，自動的に新規アクセス情報の設定画面が表示されます。

(2) 設定ウィンドウの内容について

アクセス名称

新規にアクセス情報を保存する際に、保存ファイル名ともなる名前を決める必要があります。

同名称は、アクセス情報の切り替えや編集の際に他と区別する必要から、以前に使用した名称以外を設定して下さい。既に存在する名称と同じ名前を設定すると、古い内容を削除してしまいます。

なお、同名称は、操作パネルのタイトルバーにも表示されますので、半角 6 文字程度にすることを勧めします。

プロバイダ固有の料金締め日を設定する

同項目をオンにすると、ポップアップメニューで指定した日の翌日にこれまでの接続時間を履歴として記録したうえ、これまでの接続時間値をクリアします。

年額契約のプロバイダを利用し、かつ 1 か月単位で接続時間をクリアしたい場合は、同項目をオンにし、ポップアップメニューで「毎月月末」を選択して下さい。同項目がオフの状態では、累計時間は常に加算されクリアされませんので注意して下さい。

接続時間を定期的に警告音でチェックする

同項目をオンにすると、上下の矢印マークで指定した時間間隔でチャイム音を鳴らし確認することができます。

注) CyberGate では出来るだけ本来のネット運用に負担を掛けない構造にしている関係から、ネットワーク上で他の処理を実行中、同処理が一定間隔で動作できない場合があります。

月間の最大接続時間をチェックする

同項目をオンにすると、上下の矢印マークで指定した最大時間が到来すると接続累計時間が太文字表示に変化します。なお、同機能では、プロバイダ固有の料金締め日をもって一ヶ月間としています。カレンダー通りに最大接続時間を管理したい場合は、プロバイダ固有の料金締め日を月末に設定する必要があります。なお、新しい管理月になれば、太文字は普通の文字表示に戻ります。

パスワード管理を適用する

同項目をオンにすると、同ウィンドウを表示する直前にパスワードを要求するようになることができます。但し、CyberGate 起動時に該当プロバイダが選択されている場合にのみ有効です。

自動起動指定

同項目をオンにすると、サーバーに接続した直後にチェックボタンをオンにしたソフトが自動的に起動ようになります。なお、対象ソフトが既に起動している場合は、該当ソフトが前面に移動するだけとなります。

起動ソフト指定

PPP, TCP を除く 3 種類の起動ソフトを指定できます。指定可能な内容は、アプリケーションもしくはアプリケーションを起動できる書類に限ります。ソフトを起動できない書類を選択しないよう注意して下さい。

アイコンボタンを押下すると、ソフト選択用のダイアログが表示されますので、任意のアプリケーションを指定して下さい。問題なく指定したソフトが記録されれば、各ボタン下の四角部分がグレイ色から緑色に変化すると同時に、各ボタン内に選択したソフトのアイコンが表示されます。

Internet Config でヘルパーアプリケーションが登録されていれば、各ボタンには代行ソフトウェアが自動的に登録されます。左から順に、"MAIL", "HTTP", "FTP" に対応した各ヘルパーアプリケーションが登録されます。

ネットワーク環境の選択について

CyberGate は、既に設定済みのネットワーク関連情報を自動的に収集した後、4 種類のカテゴリに分類したネットワーク設定名を各ポップアップメニューに記録します。

なお、MacOS 8 純正 PPP と FreePPP とでは設定内容が異なり、アクセス情報を設定時点で TCP/IP で選択されている PPP に関する設定情報を適用しています。

a. MacOS 8 純正 PPP 環境の場合

- ・ TCP/IP 設定："TCP/IP"で設定されている設定名称を表示しますので、使用する TCP/IP 設定を選択して下さい。なお、純正 PPP 環境下で FreePPP 用の設定名を選択しても正常に動作しませんので注意して下さい。
- ・ アカウント設定："PPP"で設定されている設定名称を表示しますので、使用するアカウント情報を選択して下さい。
- ・ 使用モデム設定："モデム"で設定されている設定名称を表示しますので、使用するモデム情報を選択して下さい。
- ・ 使用場所設定：純正 PPP では利用していないため、選択できません。

注) "TCP/IP"，"PPP"，"モデム"はコントロールパネルフォルダに保存されており，各コントロールパネル書類とも，複数の設定値を記録できるようになっています。"インターネット接続アシスタント"で設定したプロバイダ情報は，各コントロールパネル書類の設定値として自動的に記録されているわけです。

純正 PPP を使用している場合，各設定値が"TCP/IP"，"PPP"，"モデム"に分かれているため現状を把握することが面倒です。

現在の設定値名称をチェックしたい場合には，「ファイル：ネットワーク情報」を選択して下さい。各設定値の上に「XXXX が重複」というメッセージが表示された場合には，初期設定フォルダに日本語版と英語版のファイルまたはフォルダが重複していないか確認して下さい。仮に重複していると CyberGate のアクセス情報の設定処理が正常に実行できません。



b. FreePPP 環境の場合

- TCP/IP 設定："TCP/IP"で設定されている設定名称を表示しますので，使用する TCP/IP 設定を選択して下さい。なお，FreePPP 環境下で純正 PPP 用の設定名を選択しても正常に動作しませんので注意して下さい。
- アカウント設定："FreePPP Setup"上の"Accounts"タブ画面で表示される設定項目名が表示されますので，使用するアカウント情報を選択して下さい。
- 使用モデム設定："FreePPP Setup"上の"Modems"タブ画面で表示される設定項目名が表示されますので，使用するモデムコマンド情報を選択して下さい。
- 使用場所設定："FreePPP Setup"上の"Locations"タブ画面で表示される設定項目名が表示されますので，使用するロケーション情報を選択して下さい。

4. 初期設定の設定手順

初期設定ウィンドウでは、CyberGate 共通の初期設定値を新規に設定または変更したりすることができます。「アクセス情報設定ウィンドウ」と異なりアクセス情報毎に異なる内容を設定することはできません。

初期設定

現在使用中のアクセス名: GLOBAL

必要であればパスワードを入力して下さい。

パスワード:

状況に応じた効果音を利用する

接続時間の自動保存機能を利用する

10分毎

CyberGate起動後に自動接続する

アニメーションアイコンを使用する

アクセス情報の切替機能を無効にする

作業環境メニューを有効にする

最大負荷値: 64 KB/秒

1) パスワードの新規設定

インターネットに接続する直前にパスワードによるセキュリティチェックを場合には、同ウィンドウにて予めパスワードを設定しておく必要があります。

パスワードは16文字以内の半角文字で入力して下さい。パスワードを入力した後、「保存」ボタンを押下すると、再度、確認のためにパスワードの入力を要求されますので、同じ内容を入力して下さい。両方の内容が一致すれば新規にパスワードが保存されます。ここで設定したパスワードを実際に利用するためには、「アクセス情報設定ウィンドウ」上のパスワード利用項目を有効にして下さい。

2) パスワードの変更

既に設定済のパスワードを変更する場合は、セキュリティへの配慮から以下の手順で行って下さい。

新しいパスワードを入力して「保存」ボタンを押下。

これまで使用していたパスワードを入力して「保存」ボタンを押下。

新しいパスワードを再度入力して「保存」ボタンを押下。

3) パスワードの削除

セキュリティ上の配慮から CyberGate ではパスワードの削除機能をサポートしていません。実際の削除はできませんが、個々に設定しているアクセス情報個々のパスワードチェックを外すことで対応して下さい。

4) 状況に応じた効果音を利用する

同項目をオンにすると、インターネット接続・切断時、ボタン押下時に確認音を鳴らすことができます。

5) 接続時間の自動保存機能を利用する

Netscape 等を利用していると予期せずにフリーズすることがあるため CyberGate の時間管理が正確に実行できない場合があります。

同機能は、一定時間間隔に接続時間を一時ファイルに記録し、仮に正常終了しなかった場合、次回起動時に直前の接続時間をリストアします。フリーズのタイミングにもよりますが、比較的正確さを維持することが可能となります。なお、あまり時間間隔を短くすると、頻繁に処理が実行され、肝心のネットワークの快適さが損われる恐れがありますので注意して下さい。

注) CyberGate では、出来るだけ本来のネット運用に負担を掛けない構造にしている関係から、ネットワーク上で他の処理を実行中、同処理が一定間隔で動作しない場合があります。

6) CyberGate 起動時に自動接続する

CyberGate を起動した際、自動的にインターネットにアクセスすることができます。なお、同機能を利用している際、"オプションキー"を押下しながら起動すると自動起動を一時的に無効にすることが可能です。

7) アニメーションアイコンを使用する

「操作パネル」上に表示される TCP/IP のロード状態アイコンを、回線接続時のみ地球が回るアニメー

ションアイコン表示に変えることができます。また、出来るだけ使用時の負荷を下げる対策を行っておりますが、処理能力の低い Macintosh では利用しない方が良くもかもしれません。

8) アクセス情報の切替機能を無効にする

PowerBook 等のモバイル機では「作業環境マネージャ(Location Manager)」がインストールされており、ネットワーク環境の切替を同機能で実行する場合があります。このような場合に、CyberGateのアクセス切替機能が重複するため、TCP/IP 設定から使用場所設定までに限りアクセス情報の切替を無効にすることができます。

9) 作業環境メニューを有効にする

同機能を利用するためには、「作業環境マネージャ(Location Manager)」が必要です。同設定をオンにすると、メニューバーに作業環境メニューが表示され、作業環境マネージャを使った様々な機能が利用できます。詳細は別項「作業環境マネージャメニュー操作」を参照下さい。

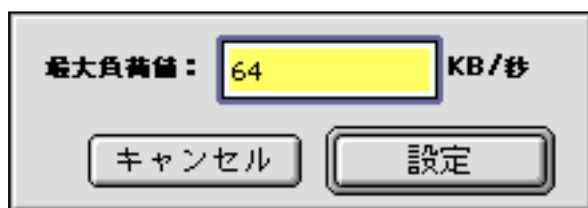
10) 最大負荷値を調整する

「状態表示パネル」上に表示される受信・送信負荷バーの最大値は、34KB/秒に設定してあります。ご使用中のモデムに合わせて、適切な値を設定して下さい。なお、入力欄には半角の数字以外は入力しないで下さい。

[設定例]

28.8KBytes 対応モデムを使用時：29 KB/秒，33.6KBytes 対応モデムを使用時：34 KB/秒

ISDN 64KBytes 対応モデムを使用時：64 KB/秒，ISDN 128KBytes バルクを使用時：128 KB/秒



5. 接続時間監視の例外設定手順

接続時間監視例外設定ウィンドウでは、特定の時間帯または曜日に限り CyberGate の時間管理を無効にする指定が可能です。同設定値は CyberGate 共通となりますので、アクセス情報毎に設定値を変更することはできません。

例外設定

接続累計時間例外設定

時間を例外条件とする

0 時から 0 時まで

曜日を例外条件とする

日曜日 月曜日 火曜日 水曜日

木曜日 金曜日 土曜日

キャンセル 保存

1) 接続累計時間例外設定

同チェックボックスをオンにすれば例外機能を有効にでき、オフにすれば設定内容に係わらず同機能を無効にすることができます。

2) 時間を例外条件とする

特定の時間帯を時間管理の例外とすることが可能です。時間帯の指定範囲は、日を越えて設定することができます。例えば、23 時から 8 時という指定をすると、CyberGate を起動後最初に到来した 23 時から翌日の 8 時までの間、時間管理を無効にできます。

3) 曜日を例外条件とする

特定の曜日を時間管理の例外とすることが可能です。複数の曜日を指定することができ、CyberGate が起動中でも該当曜日が到来すると時間管理を無効にします。

6. 通信コスト管理の設定手順

CyberGate では、月単位でインターネット接続に要した通信コストを管理することができます。なお、同機能はプロバイダ毎には管理できず、月が変わると自動的に累計値はクリアされます。あくまで、通信コストを管理するうえの参考としてご利用下さい。

開始時間	終了時間	料金
8時から	19時まで	3円/分
19時から	23時まで	3円/分
23時から	7時まで	3円/分

1) 料金管理機能を利用する：同項目を有効にすると同画面で設定した内容を通信コスト管理活かすことができます。無効にすると、個々の設定値は無効になり、図 2 の通信コストパネルは表示されません。

2) 月額基本料金：NTT の電話基本料金ならびにプロバイダの月額基本料を入力します。

3) 種類の時間帯に応じた通信コストをを加算することができます。使用しない時間帯の料金欄はゼロカウントにしておいて下さい。

時間帯の設定は、0 時から 23 時までの順(時計回りの順)で入力して下さい。

月額基本料金欄の数字は、半角の正数数字のみ入力して下さい。全角数字や小数点数字、その他の文字を入力した場合は、正常に動作しません。

例外設定の内容は、個々の時間帯の設定内容に優先します。例外設定の時間帯や曜日には、通信コスト管理機能が動作しませんので注意して下さい。

4) 監視時間を 3 分間隔にする

初期値では 1 分間隔で指定した料金を加算しますが、同設定をオンにしておくと全ての時間帯で 3 分間隔で加算するように変更できます。

5) 一定時間を越えた際に追加課金料金を加算する

プロバイダによっては予め定めた接続時間を越えると追加料金を加算する場合があります。

そのような場合に同設定を利用して下さい。なお、年極・月極制を採用しているプロバイダに加入している場合は、「0 時間を越えたら 0 円/分を加算する」と設定して下さい。

7. 起動ソフトの設定手順

「ツール」メニューでは、操作パネル上に設定されている起動ソフトの他に、ユーザ自身が任意に5つのアプリケーションを用意して起動することが可能です。同項目はCyberGate 共通で使用できるアプリケーション(パネル上の設定はアクセス情報単位)です。

同項目には書類(アプリケーションのドキュメント)は登録できませんが、設定した以降にアプリケーションの保存場所が変更になった場合、クリエイタ情報で自動検索する機能を提供しています。



各アイコンボタンを押下すると、選択用ダイアログが表示されますので起動したいソフトを選択して下さい。選択が完了すると即登録されますので、選択を誤った場合等には再度正しいソフトを選択し直して下さい。また、各"削除"ボタンを押下すれば、登録内容を項目単位で削除できます。

8. 各表示パネルの操作方法

1) 操作パネル

CyberGate 上でアクセス情報を設定した後、操作パネルを利用可能になります。



インターネット接続前の状態



インターネット接続後の状態

操作パネルは、CyberGate を利用する際、最も中核となる操作用ウィンドウです。一見するとフローティングウィンドウのような形状ですが、操作上は普通のウィンドウと変わりません。複数のアクセス情報に対応したウィンドウを同時に表示させることはできません。

同パネル上の機能は、保存されているアクセス情報に応じて実行されますので、接続時間の監視方法や起動ソフトの種類も個々に異なります。個々の設定内容は、「アクセス情報設定ウィンドウ」上で任意に変更することが可能です。

インターネット接続・切断

パネル上のドアを表すアイコンボタンを押下することにより、接続・切断を行うことが可能です。また、CyberGate が前面で動作していれば、リターンキーかエンターキーの押下により接続・切断を実行することも可能です。

接続時間表示

パネル上に二段で表示される数値で確認できます。上段が現在の接続経過時間・下段がこれまでの累計時間を示します。接続時間の扱いに関する設定は、「アクセス情報の設定手順」を参照して下さい。

状態確認

同パネルでは以下の 3 種類の状態表示をサポートしています。

- a. サーバー接続・切断状態：ドアを表すアイコンにて表示ドアが開いていればサーバーと接続中、閉じていればオフラインであることを意味します。
- b. TCP/IP ロード状態：地球を表すアイコンで TCP/IP のロード状態を表しています。
TCP/IP がロードされている状態であると、同アイコンに両方向の小さな矢印が追加されます。
- c. アラーム機能状態：接続経過時間をアラームで知らせる機能の有無をベルアイコンで表示しています。アラームの扱いに関する設定は、「アクセス情報の設定手順」を参照して下さい。

関連ソフトの起動

同パネルの最下部には 5 つの関連ソフトを起動できるアイコンボタンが配置されています。ConfigPPP/FreePPP Setup, TCP の各ソフトウェアは CyberGate が自動的に設定していますので、常に利用することが可能です。残りの 3 つのボタンは任意に対象ソフトを設定することができます。但し対象ソフトがアップルイベントをサポートしている必要があります。同機能はツールメニュー内の起動メニュー項目でも代行可能です。対象ソフトの設定に関しては、「アクセス情報の設定手順」を参照して下さい。

CyberGate は、登録したソフトの保存場所が変更になってもクリエイタ情報をもとに自動的に所在を検索し、バージョンアップ等で置き換えられたソフトの情報を取得します。

起動ボタンに「？」マークが表示された場合は、上記の自動検索を実行してもソフトを発見できなかったことを意味します。「？」マークのボタンを押下すると、再設定するために選択用ダイアログが表示されます。同ダイアログで正しく設定すれば、自動的に登録され続けて該当ソフトを起動することが可能です。

仮に起動ソフトが設定されていない場合、Internet Config がインストールされていれば、同ソフトでヘルパーアプリケーションとして登録されている内容が適用されます。代行アプリケーションは、左から順番にメールソフト・Web ブラウザ・FTP サーバーソフトとなります。

パネルの大きさ調整

同パネルの大きさは、好みや状況に合わせて 2 段階で切り替えることができます。切替操作は、ツールメニュー内「操作パネルを拡張/縮小化」項目で行って下さい。拡張では全ての項目、縮小化ではインターネットへの接続・切断と時間表示のみを扱うことが可能です。

パネルの表示位置

同パネルの表示位置は、CyberGate が常に記録していますので、次回起動時にも最後に表示した位置に表示されます。また、表示位置はアクセス情報毎に記録しています。

パネルの一時消去

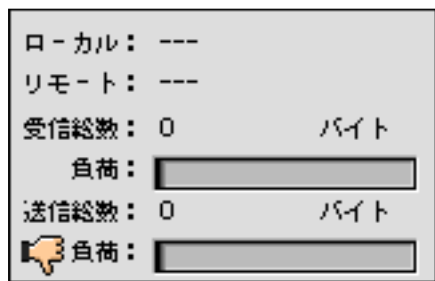
ツールメニュー内「操作パネルを表示/隠す」項目でパネル表示の有無を選択することも可能です。なおパネルが表示されていない場合は、アクセス情報に対する操作はできません。

CyberGate の前面移動

CyberGate がバックグラウンドにある時、同パネルのボタン以外の部分をマウスでクリックすると、CyberGate を前面に移動させ、各種操作・設定などを行うことが可能です。

2) 状態パネル

状態パネルを表示すると、インターネット接続中の IP アドレスや受信・送信負荷を確認することができます。同パネルの表示・非表示はツールメニュー内「状態パネルを表示/隠す」項目で操作可能です。



インターネット接続前の状態



インターネット接続後の状態

- ローカル: ローカルの IP アドレスを表示します。
- リモート: リモートの IP アドレスを表示します。
- 受信総数: サーバーから受信した総データ量(bytes)を表示します。
- 送信総数: サーバーに送信した総データ量(bytes)を表示します。
- 各負荷: 1 秒毎に送受信したデータ量をグラフバーで表示します。
- 状態アイコン: 回線接続、切断状態を手のかたちで確認できます。

パネルの表示位置

パネルの表示位置は、パネル内部をマウスでドラッグすれば移動できます。

同パネルの表示位置は、CyberGate が常に記録していますので、次回起動時にも最後に表示した位置に表示されます。また、表示位置は CyberGate 共通で記録しています。

パネルの一時消去

ツールメニュー内「状態パネルを表示/隠す」項目でパネル表示の有無を選択することも可能です。

なお、実行速度を優先するには、同パネルを非表示にしておいた方がよいと思われます。

3) コスト管理パネル

通信コスト設定で「料金管理機能を利用する」項目を有効にすると、コスト管理パネルが表示されます。

ツールメニュー内「コスト管理を表示/隠す」項目でパネル表示の有無を選択することが可能です。

今回の通信コスト(円)： 0
通信コスト累計値(円)： 4770

今回の通信コスト(円)：アクセス中の通信コストを 1 分間隔で表示します。

通信コスト累計値(円)：該当月の通信コスト累計値を表示します。

9. 接続時間履歴の閲覧

1. 接続時間履歴について

CyberGate では、毎月の接続累計時間を記録し随時閲覧することが可能です。

接続時間履歴ウィンドウは、個々のアクセス情報毎の接続時間の履歴を必要に応じて確認するためのウィンドウです。CyberGate を使用開始した当初は、接続履歴が保存されていないのでウィンドウ上には何も表示されません。「アクセス情報設定ウィンドウ」上の「プロバイダ固有の料金締め日を設定する」項目で設定した締め日の翌日にこれまでの接続時間を履歴として保存します。保存された累計接続時間は、月単位で履歴を確認することが可能です。

通信コスト管理機能を有効にしておくと、履歴情報に通信費用(概算)が追加されます。

2. 閲覧ウィンドウの内容について



1) 履歴をクリアする

CyberGate の履歴情報はシンプルな内容ですので、記録上限を越えるまでには数年かかります。

しかし、何らかの事情で現在保存している履歴を一旦クリアにしたい場合には、同ウィンドウ上の"クリア"ボタンを押下して下さい。

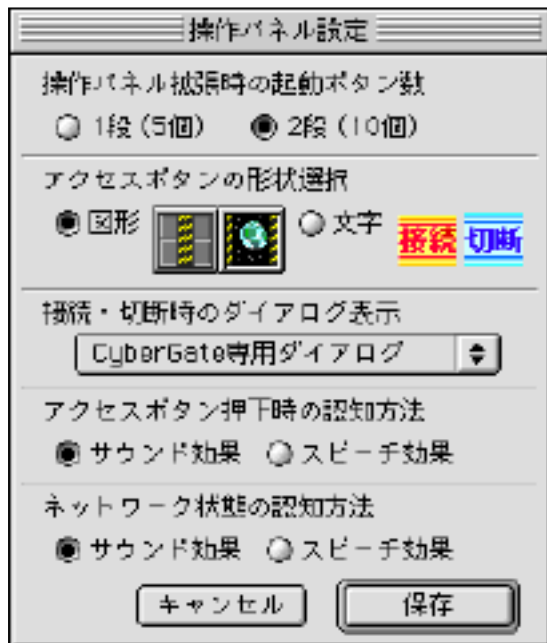
2) ウィンドウを閉じる

現在表示中の接続時間履歴ウィンドウを閉じたい時は、同ウィンドウ上の"閉じる"ボタンを押下して下さい。

注) CyberGate バージョン 2.x で使用していた履歴データをバージョン 3.0 で継続使用する場合にはファイルメニューの「接続履歴データを移行」を利用して下さい。

10. 操作パネルのカスタマイズ

操作パネル設定ウィンドウでは、操作パネルの仕様をカスタマイズすることができます。



1) 操作パネル拡張時の起動ボタン数

操作パネルを拡張した際のソフト起動用のボタン数を 5 個(標準)か 10 個のいずれかで選択することができます。10 個表示時には、上段の 5 個はアクセス情報単位で設定した起動ソフト、下段の 5 個は「起動ソフト設定」で指定した起動ソフトのアイコンが表示されます。

2) アクセスボタンの形状選択

操作パネルに表示するアクセスボタンの形状を選択することができます。

3) 接続・切断時のダイアログ表示

システム標準の PPP(OT/PPP, 純正 PPP)を使用している環境でのみ有効です。

インターネットに接続または切断する際、PPP 標準のダイアログを使用する、CyberGate オリジナルのダイアログを使用する、またはダイアログを表示しない、のうちから選択することができます。

CyberGate オリジナルのダイアログは、操作のキャンセルができない反面、モードレスなダイアログですので画面がロックされないというメリットがあります。

4) アクセスボタン押下時の認知方法

同機能は「初期設定」で「状況に応じた効果音を利用する」が有効になったいる場合および Speech Manager がシステムにインストールされている場合にのみ有効です。操作パネルのアクセスボタンを押下した際、サウンド効果(標準)か Speech Manager を利用して喋らすか選択することができます。

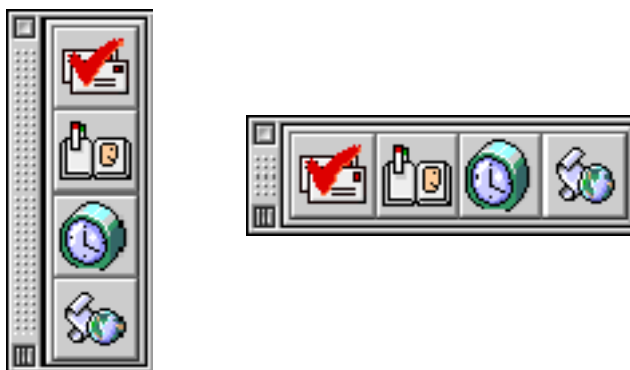
5) ネットワーク状態の認知方法

同機能は「初期設定」で「状況に応じた効果音を利用する」が有効になったいる場合および Speech Manager がシステムにインストールされている場合にのみ有効です。ネットワークの接続・切断状態をサウンド効果(標準)か Speech Manager を利用して知らせるか選択することができます。

11. アクションパネルの操作方法

アクションパネルでは、利用頻度が高い操作をボタン押下だけで実行できる便利な機能を適用しています。

アクションパネル上の各機能ボタンは、上（もしくは左）から順に以下の機能を備えています。



メールチェックボタン：

電子メールソフト"Eudora Pro シリーズを対象に、メールチェック操作を実行します。

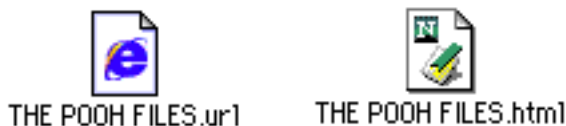
同ボタンを押下すると、インターネット接続（未接続時に押下した場合）、"Eudora Pro シリーズの起動、メールチェックまでの一連の操作を実行します。

注）同機能は、"Eudora Pro シリーズのみがサポートしている独自のアップルスクリプトを利用しているため、他の電子メールソフトでは使用できません。

"Eudora Pro シリーズについては、"<http://www.kuni.co.jp/>"を参照して下さい。

ブックマークファイル作成ボタン：

Web ブラウザを対象に、現在ブラウザ・ウィンドウに表示中のホームページ・アドレス(URL 情報)を取得し、ブックマーク専用ファイルとして保存します。



注) Internet Explorer と Netscape Navigator は、それぞれ独自のフォーマットで URL 情報を記録していますが、CyberGate は自動的に適切な内容で URL 情報を保存します。

注) サポートしている Web ブラウザは、Internet Explorer と Netscape Navigator です。

表示時刻調整ボタン：

Vremya または NetChronometer を利用して、表示時刻の調整を依頼します。

同ボタンを押下すると、インターネット接続（未接続時に押下した場合）、該当ソフト起動、時刻合わせまでの一連の操作を実行します。

注) Vremya は、NTP(Network Time Protocol)をサポートする専用サーバーより時刻情報を取得し、マックに内蔵されているシステム・クロックを調整するソフトウェアです。作者は、Kirill Levchenko 氏であり、以下のサイトから最新版、または最新情報を入手することが可能です。

最新版を入手可能な FTP サイト：

<ftp://ftp.lava.net/pub/users/kirill/Vremya-latest.hqx>

最新情報を入手可能なホームページ：<http://www.lava.net/~kirill/>*

注) NetChronometer も Vremya と同様の機能をサポートするツールソフトです。

作者は、Jeremy Kezer 氏であり、以下のサイトから最新版、または最新情報を入手することが可能です。

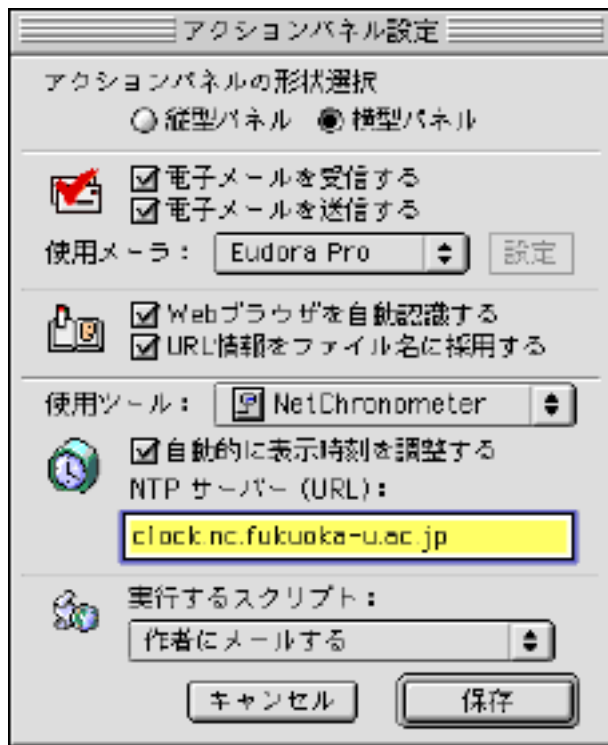
<http://www.kezer.net/index.html>

スクリプト実行ボタン

「スクリプティング」フォルダに保存しているアップルスクリプトファイルから 1 つだけ選択し、該当スクリプトをボタン押下で実行します。

アップルスクリプトファイルの選択は、ファイルメニューの「アクションパネル設定」で行います。

アクションパネル上の各機能ボタン仕様は、ファイルメニューの「アクションパネル設定」項目で変更することが可能です。



1) アクションパネルの形状変更

アクションパネルの形状を縦型（標準）または横型に変更します。

2) メールチェックボタン仕様

メーラにメールチェックを依頼する際、電子メールを送信する操作と受信する操作のいずれを実行するか選択することができます。使用メーラは、Eudora Pro とクラリスメールから選択でき、クラリスメールを選択した場合は「設定」ボタンを押下し、「アカウント名」か「サービス名」を入力して下さい。

3) ブックマークファイル作成ボタン仕様

Web ブラウザを自動認識する

同ボタンを押下した時点で、Internet Explorer と Netscape Navigator いずれのブラウザが起動しているかを自動認識します。仮に両ブラウザが起動している場合、Internet Explorer が優先されます。

また、同チェックボックスを無効にした場合は、InternetConfig で設定されているブラウザ情報が適用されます。

URL 情報をファイル名に採用する

ブックマークファイルを保存する際、ホームページのタイトル名をファイル名の一部に採用します。同チェックボックスを無効にした場合は、「URL ブックマーク」となります。

4) 表示時刻調整ボタン仕様

使用ツール

時刻調整に利用するツールソフトを"Vremya"か"NetChronometer"のいずれかから選択して下さい。同機能を有効にするためには、必ずいずれかのソフトをインストールして下さい。インターネット上から入手する場合、CyberGate のアップルスクリプトメニューから"Vremya の最新版を入手する"か"NetChronometer を入手する"を選択すれば、WWW ブラウザでソフトの作者が運営するホームページに移動できます。

自動的に表示時刻を調整する

CyberGate よりインターネットに接続した時点で、自動的に表示時刻調整を実行します。同チェックボックスを有効にしておけば、接続の都度、時刻調整ができ便利です。

NTP サーバー (URL)

NTP サーバーの URL 情報を設定します。初期値では"clepsydra.dec.com"を採用しています。"http://www.eecis.udel.edu/ntp/"で最寄りの NTP サーバーを探し設定して下さい。

アクションパネル上の機能ボタンを使い易くするために、各対象ソフトの設定を変更して下さい。

5) 実行するスクリプト

「スクリプティング」フォルダに保存されているアップルスクリプトファイル名がポップアップメニューに表示されますので、アクションパネルで実行したいファイル名を選択して下さい。

6-1) Eudora Pro (3.1.1-J, 4.01-J の場合)の設定例

特別メニューの「設定」項目を選択後、「ユーザ報告」パネルに切り替えて下さい。

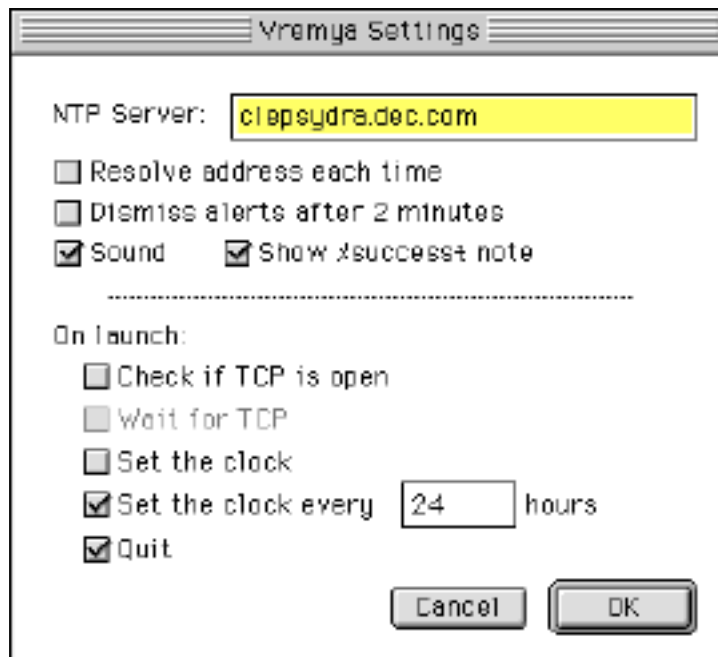
「アラート表示」項目を無効にしておくと、メールチェック以降の操作がやりやすくなります。



6-2) Vremya (1.6.5 の場合)の設定例

File メニューの「Settings」項目を選択して下さい。

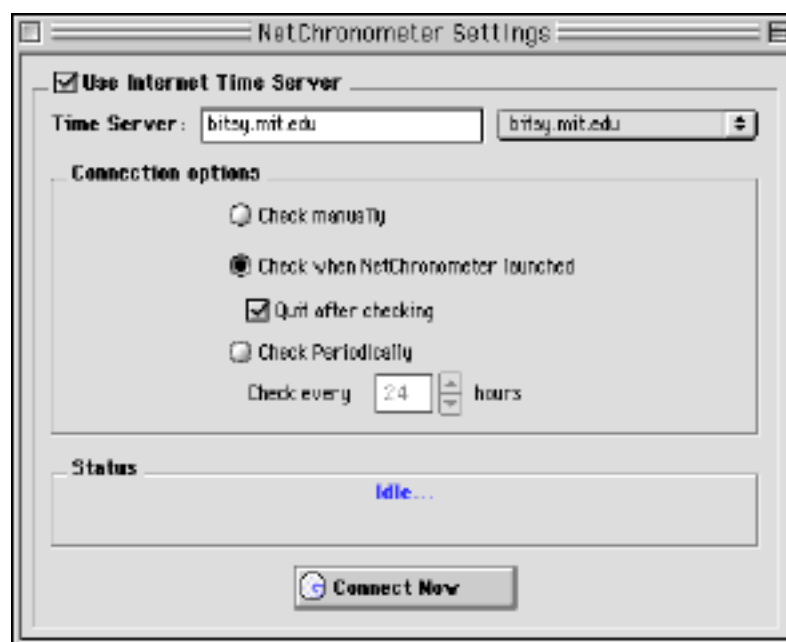
「On launch」項目内にある「Check if TCP is open」と「Set the clock」を無効にし、「Quit」を有効にしておくと、時刻調整の操作がスムーズになるうえ、調整後に自動的に終了させることができます。



6-3) NetChronometer (1.1.0 の場合)の設定例

NetChronometer Settings 画面の "Connection options" 欄で, "Check when NetChronometer launched" を選択した後, "Quit after checking" をオンにして下さい。同設定で, NetChronometer が起動後に自動的に時刻調整を行った後, 終了することができます。

なお, NetChronometer はシェアウェアです。15 日の試用期間が経過すると機能が無効になりますので, 継続利用する場合はシェアウェア代金の支払いを検討して下さい。



6-4) クラリスメール (クラリスメール Lite 1.1v2 の場合) の設定例

設定メニューの「インターネット接続設定」項目を選択して下さい。

同設定ウィンドウ上で設定されている「サービス名」をメモして下さい。

インターネット接続設定

キャンセル 保存

サービス名 : GLOBAL

名前 : Tomohiko Shimizu

メールアドレス : tomohiko@gol.com

POP アカウント :

メールパスワード :

SMTP ホスト :

開封済メッセージを削除しない

開封済メッセージを無視する

Internet Config 設定を使用する

次に CyberGate を起動し、ファイルメニューから「アクションパネル設定」を選択して下さい。

同ウィンドウ上の「使用メーラ」欄から「クラリスメール」を選択後、右側の「設定」ボタンを押下して下さい。先ほどメモした「サービス名」を同ダイアログに入力し「保存」ボタンを押下して下さい。

アカウント名またはサービス名:

GLOBAL

キャンセル 保存

注) クラリスメールとクラリスメール Lite は、製品の仕様が異なる可能性があります。上記解説は MacOS 8 に標準添付されている Lite 版の仕様をもとに説明しています。

12. メニュー項目

1) アップルメニュー項目

a. CyberGate について...

CyberGate のアバウト画面を表示します。

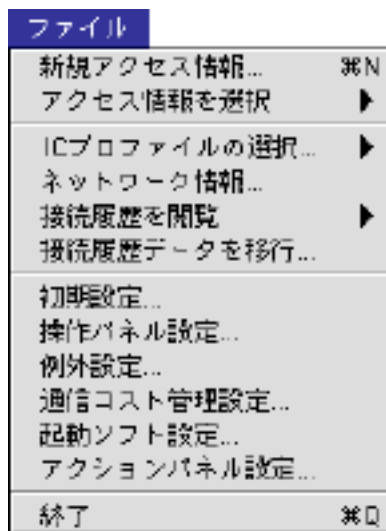
b. 最新版を入手する... [InternetConfig 2.0 以上が必要]

CyberGate の最新版を公開しているホームページの閲覧または作者へのメールを作成することができます。

c. ユーザ登録...

CyberGate はシェアウェアです。2 週間の試用期間を経たうえで、継続的にご使用になる場合、ユーザ登録をお願いしております。ユーザ登録の結果、入手したシリアル番号を同メニュー項目により表示されるウィンドウに入力して下さい。入力した以降、シェアウェアであることを告げるダイアログは表示されなくなります。ユーザ登録の具体的な手順については、別項を参照して下さい。

2) ファイルメニュー項目



a. 新規アクセス情報...

使用するネットワーク環境情報を保存するとともに、インターネット接続時に採用したい設定をプロバイダやモバイル環境別に行うことができます。具体的な設定内容については、別項を参照して下さい。

b. アクセス情報を選択...

現在保存されている各アクセス情報を切り替えることができます。現在保存されている情報は同メニューの横にサブメニューとした表示されます。表示されているサブメニュー項目より切り替えたいアクセス情報名を選択して下さい。なお、サブメニュー上でマーク付の項目名は現在使用中のアクセス情報であることを示しています。

c. IC プロファイルを選択... [InternetConfig 2.0 以上が必要]

InternetConfig(インターネット設定)バージョン 2.0 以降がサポートしているプロファイル切替機能を利用して、任意のプロファイルを選択することができます。

d. ネットワーク情報...

MacOS 8 純正ネットワーク環境における設定状況を表示します。

e. 接続履歴を閲覧

各アクセス情報の接続時間の履歴を確認することができます。現在保存されている情報は同メニューの横にサブメニューとした表示されます。サブメニュー項目より確認したい履歴を選択して下さい。なお、サブメニュー上でマーク付のアクセス情報名は現在使用中の項目であることを示しています。具体的な表示内容については、別項を参照して下さい。

f. 接続履歴データを移行...

CyberGate バージョン 2.x で利用していた接続履歴情報をバージョン 3.x 用に移行することができます。操作手順は以下のとおりです。

・移行対象データを選択：初期設定フォルダ内「CyberGate Servers」に保存されている旧履歴ファイル"xxxx History"を選択して下さい。

・移行先ファイルを選択：初期設定フォルダ内「CyberGate 設定情報フォルダ」に保存されている新履歴ファイル"xxxx 履歴情報"を選択して下さい。

g. 初期設定...

CyberGate 共通の初期値を設定することができます。具体的な設定内容については、別項を参照して下さい。

h. 操作パネル設定...

操作パネルの仕様やボタン押下時の効果等を設定することができます。具体的な設定内容については、別項を参照して下さい。

i. 例外設定...

接続時間をカウントしないケースを例外的に設定することができます。具体的な設定内容については、別項を参照して下さい。

j. 通信コスト管理設定..

接続に要した通信コストに関する設定を行うことができます。具体的な設定内容については、別項を参照して下さい。

k. 起動ソフト設定...

起動ソフトを最大 5 種類まで設定することができます。具体的な設定内容については、別項を参照して下さい。

l. アクションパネル設定...

アクションパネル上の各機能ボタンに関する仕様を設定することができます。具体的な設定内容については、別項を参照して下さい。

m. 終了

CyberGate を終了します。

3) 編集メニュー項目

編集	
取消	⌘Z
カット	⌘X
コピー	⌘C
ペースト	⌘V
クリア	
アクセス情報の編集	▶
使用フォント	▶
表示時間の編集	▶
タイマーリセット	
表示位置を初期化	

a. 取消

同メニュー項目は使用しません。

b. カット

一部のウィンドウで入力した文字をカットできます。

c. コピー

一部のウィンドウで入力した文字をコピーできます。

d. ペースト

一部のウィンドウで入力した文字をペーストできます。

e. クリア

同メニュー項目は使用しません。

f. アクセス情報の編集...

ファイルメニュー内「新規アクセス情報」項目で保存したサーバー情報のうち、CyberGate 上の動作に係る設定値を編集することができます。具体的な設定内容については、別項を参照して下さい。

g. 使用フォント

操作パネルの表示フォントを変更することができます。なお、状態パネルと通信コストパネルの表示フォントを変更することはできません。

h. 表示時間の編集

操作パネル上の「現在の接続時間」と「累計接続時間」のそれぞれの値を直接編集することができます。

i. タイマーリセット

操作パネル上に表示している接続時間に関する値をすべてクリアすることができます。

j. 表示位置を初期化

操作パネル，状態パネル，通信コストパネル，アクションパネルを初期値の表示位置に戻すことができます。何らかの原因でパネルが表示できない場合に使用して下さい。

4) ツールメニュー項目



a. 操作パネルを拡張/縮小化

操作パネルの大きさを状況に応じて変更することができます。Expand は関連ソフト機能を含むすべての機能を利用できる大きさのウィンドウ、Shrink はサーバーへの接続・切断と時間管理のみをサポートする大きさのウィンドウを表示します。一旦設定すると、次回起動時と同じ大きさのウィンドウが表示されます。

b. 操作パネルを表示/隠す

操作パネルを一時的に消したり表示したりすることができます。

c. 状態パネルを表示/隠す

状態パネルを一時的に消したり表示したりすることができます。

d. コスト管理を表示/隠す

通信コストパネルを一時的に消したり表示したりすることができます。なお、通信コスト管理機能を無効にしている場合、同項目を使用できません。

e. アクションパネルを表示/隠す

アクションパネルを一時的に消したり表示したりすることができます。

f. PPP 起動

操作パネル上に配置されている関連ソフト起動用のアイコンボタンのうち、PPP を開く機能を代行します。

MacPPP, 旧 FreePPP の環境 : ConfigPPP と表示

FreePPP 2.5 以上の環境 : FreePPP Setup と表示

Open Transport/PPP の環境 : OT/PPP と表示

g. TCP 起動

操作パネル上に配置されている関連ソフト起動用のアイコンボタンのうち、TCP を開く機能を代行します。Open Transport 環境では"TCP/IP"、MacTCP 環境では"MacTCP"という表示となります。

h. 起動ソフト項目

操作パネル上に配置されている関連ソフト起動用のアイコンボタンのうち、上記以外のソフト起動を代行します。また残りの 5 つの項目は、"起動ソフト設定"でユーザ自身が任意に設定可能です。各メニュー項目には、対象ソフト名称が表示されます。対象ソフトが設定されていない場合は"Undefined"という表示となります。

13. コンテキストメニュー操作

CyberGate は、独自にコンテキストメニューをサポートしています。操作パネル上にマウスを移動させ、コントロールキーとともにクリックするとメニューがポップアップし、手元で使用頻度の高い機能を利用することが可能になります。

注) 操作パネル以外のウィンドウでは一部機能しないコンテキストメニュー項目があります。

注) FinderPop を利用している場合であっても、コントロールキーを押下して下さい。

コンテキストメニューで利用できる機能は、アクセス情報の切替、接続時間の履歴チェック、アクセス情報の編集、起動ソフトの選択（操作パネルの起動ボタンが1段設定の場合のみ）等スクリプトの実行では、「スクリプト編集プログラム（標準で Apple エクストラに収録）」で作成したコンパイル済みのスクリプトファイルを実行することができます。スクリプトファイルは、CyberGate と同じ階層上に作られた「スクリプティング」フォルダに保存することで、コンテキストメニューに反映することができます。

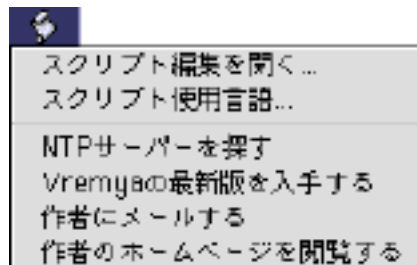
注) サンプルスクリプトは、英語仕様のスクリプティング表現形式で記述しています。

注) サンプルスクリプトの一部は、「スクリプティング機能追加」に「インターネットスクリプティング」がインストールされていないと実行できないものがあります。



14. アップルスクリプトメニュー操作

アップルスクリプトメニューを利用するためには、アップルスクリプト機能が正しくインストールされている必要があります。



1) スクリプト編集を開く

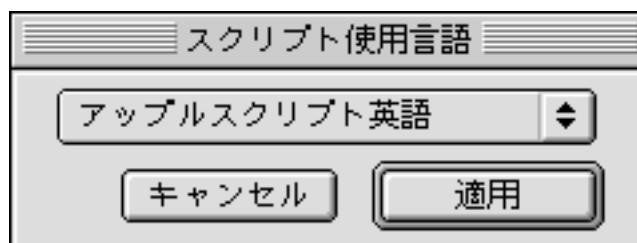
「スクリプト編集プログラム (標準で Apple エクストラに収録)」を起動し、スクリプトを記述したり、内容を変更することができます。

2) スクリプト使用言語

CyberGate でアップルスクリプトを実行する際、「スクリプティング表現形式」が"AppleScript 日本語" (「スクリプト編集プログラム」の編集メニューの「書式」) に設定されていると、スクリプトによっては正常に実行できないものがあります。

これは CyberGate の問題ではなく、アップルスクリプト側の仕様制限によるものですが、一般にアップル製品以外のソフトウェアの多くが AppleScript 英語"を想定したスクリプト機能を提供しているため、折角のスクリプトが実行できないという不都合が生じます。本機能を利用すれば、CyberGate を使用している間に限り、表現形式を日本語か英語に設定することが可能となります。デスクトップ上では日本語表現、CyberGate でのみ英語表現を適用する、といった場面で活用して下さい。

本機能で表現形式を設定しておけば、次回以降も設定した表現形式を反映しますが、表現形式を変更した時は、CyberGate を一度再起動して下さい。



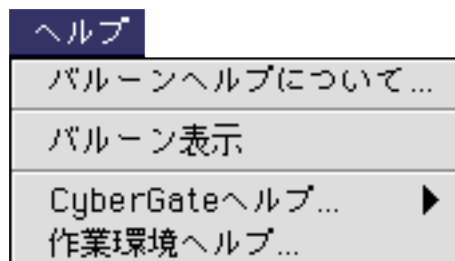
3) スクリプト名

CyberGate と同じ階層上に作られた「スクリプティング」フォルダに保存したスクリプティングファイル名を表示します。任意のファイル名を選択すれば、該当のスクリプトを実行できます。

なお、実行可能なスクリプトは、"コンパイル済みのスクリプトファイル" のみです。

15. ヘルプメニュー操作

ヘルプメニューでは，CyberGate を使用するを快適にご利用いただくために，ガイダンス情報を収録しています。



1) CyberGate ヘルプ

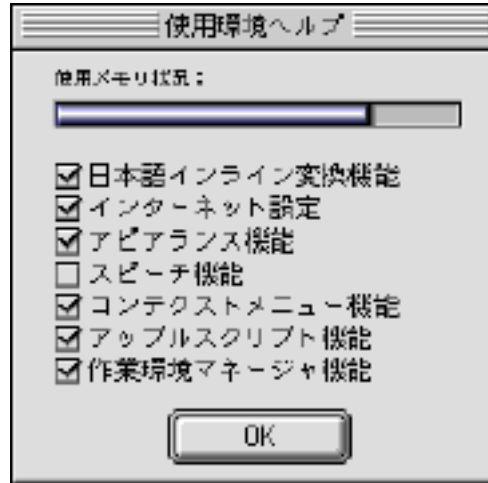
サブメニューには，CyberGate と同じ階層にある「ガイドクリップ」フォルダに保存されたクリッピングファイル名が表示されます。任意のガイド名を選択すれば，クリッピングファイルの内容を参照できます。

「ガイドクリップ」フォルダに，ClippingPad で作成したクリッピングファイルを入れておけば，メモ帳代わりに利用することも可能です。



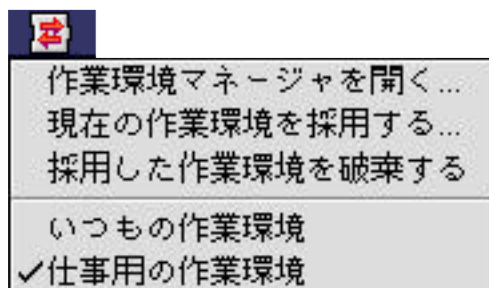
2) 使用環境ヘルプ

現在使用中のマック環境にインストールされている機能拡張の状態をチェックできます。



16. 作業環境マネージャメニュー操作

作業環境マネージャメニューを使用するためには、「作業環境マネージャ(Location Manager)」をインストールする必要があります。作業環境マネージャはMacOS 8.xの各CD-ROMに収録されています。また、英語版は米国アップル社のFTPサイト等から入手可能ですが動作確認は実施しておりません。以下、MacOS 8.1 CD-ROMに収録されている作業環境マネージャ J1-2.0をもとに解説します。J1-1.0.2の場合は多少内容が異なります。



ファイルメニューの初期設定で「作業環境メニューを有効にする」をオンにした後、再度CyberGateを起動すれば、以降、作業環境マネージャメニューがメニューバーに追加されます。

1) 作業環境マネージャを開く

コントロールパネル「作業環境マネージャ」を開きます。

2) 現在の作業環境を採用する

現在設定されている作業環境を「アクセス情報」に保存し、CyberGateの起動時またはアクセス情報を切り替える都度、採用した作業環境に切り替えることができます。この時、アクセス情報で設定した"TCP/IP"、"PPP"、"モデム"の各設定は無視され、作業環境マネージャで設定した「インターネットアクセス」等の情報が優先されます。したがって、作業環境マネージャでインターネット関連の項目を設定しないと、正しい環境を反映できません。

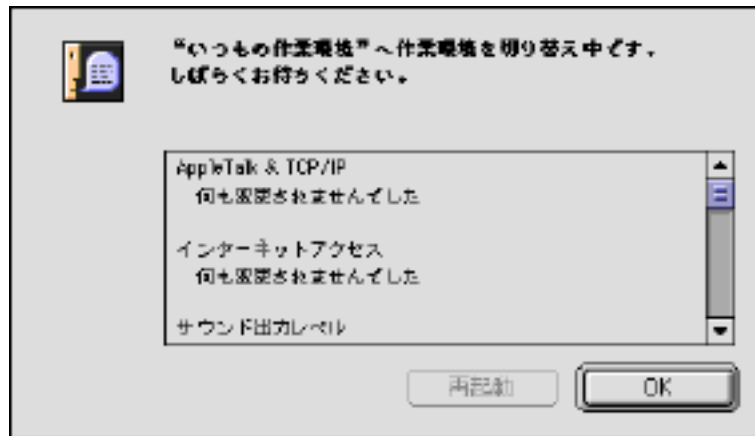
CyberGate自身が作業環境を切り替える場合は、CyberGate専用のダイアログが表示されます。

3) 採用した作業環境を破棄する

現在使用中の「アクセス情報」に保存した作業環境に関する情報を破棄します。破棄した以降はCyberGateの起動時またはアクセス情報を切り替える際、作業環境を切り替えなくなります。

4) 作業環境名

既に設定済みの作業環境名をメニューから直接切り替えることができます。現在設定されている作業環境名にはチェックマークが表示されます。メニューから作業環境を切り替えると、作業環境マネージャが用意している標準のダイアログが表示されます。



17. コントロールバー項目の操作

"CyberGate Strip"は、「コントロールバー項目」専用のモジュールです。使用する場合は、同モジュールをシステムフォルダにドラッグして下さい。自動的に「コントロールバー項目」フォルダに保存されますので、一旦、マックを再起動して下さい。

再起動後、下図のようなアイコンがコントロールバーに追加されますので、クリックすれば様々な機能を提供するメニューが表示されます。



TCP/IP, PPP, モデム :

「コントロールパネル」フォルダに保存されているネットワーク関連パネルを開くことができます。

インターネット設定 :

「インターネット設定(Internet Config)」を起動することができます。

ニュースリーダー～電子メール :

「インターネット設定」で設定したヘルパーアプリケーションを起動することができます。

CyberGate :

「CyberGate」を起動することができます。起動できる CyberGate は、バージョン 3.0 以上です。

スクリプト実行, ブックマーク作成, メール確認, 時刻調整 :

CyberGate 3.2 以降でサポートしているアクションパネル機能のうち、次の機能を CyberGate に指示することができます。

メール確認は、電子メールの送受信を自動化する機能です。

時刻調整は、「Vremya」を利用して時刻調整を行う機能です。

ブックマーク作成は、表示中のブラウザ画面のブックマークファイルを作成する機能です。

スクリプト実行は、同ボタンにアサインしているスクリプトを実行する機能です。

いずれも「アクションパネル設定」で各機能を有効にしておく必要があります。

回線接続/w 終了：

CyberGate に「回線切断」を指示し，完了後に CyberGate を終了できます。

回線切断：

回線接続：

CyberGate に「回線接続」と「回線切断」を指示することができます。

メール確認，時刻調整は CyberGate 3.4.3 以降，スクリプト実行，ブックマーク作成，回線切断 /w 終了回線接続は CyberGate 3.4.4 以降，回線接続，回線切断は CyberGate 3.0 以降で有効です。なお，CyberGate Strip を利用する前に，古いバージョンの CyberGate を全て削除することをお勧めします。

18. ナビゲーション・サービス操作

CyberGate は、アップル社が開発した "Navigation Service" に対応しています。

MacOS 8.5 以降の環境で CyberGate を使用した場合、自動的に "Navigation Service" のサービスに切り替わります。

"Navigation Service" が有効になると、従来のファイル選択ダイアログ(下図 A)に代わり、新しい選択ダイアログ(下図 B)が表示されます。

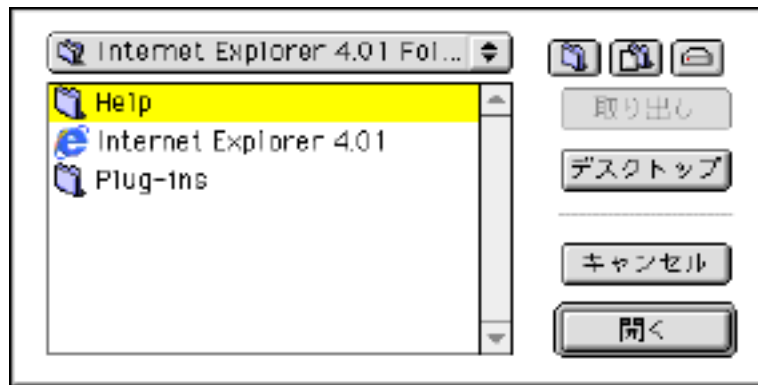


図 A : MacOS 8.1 以前のファイル選択ダイアログ

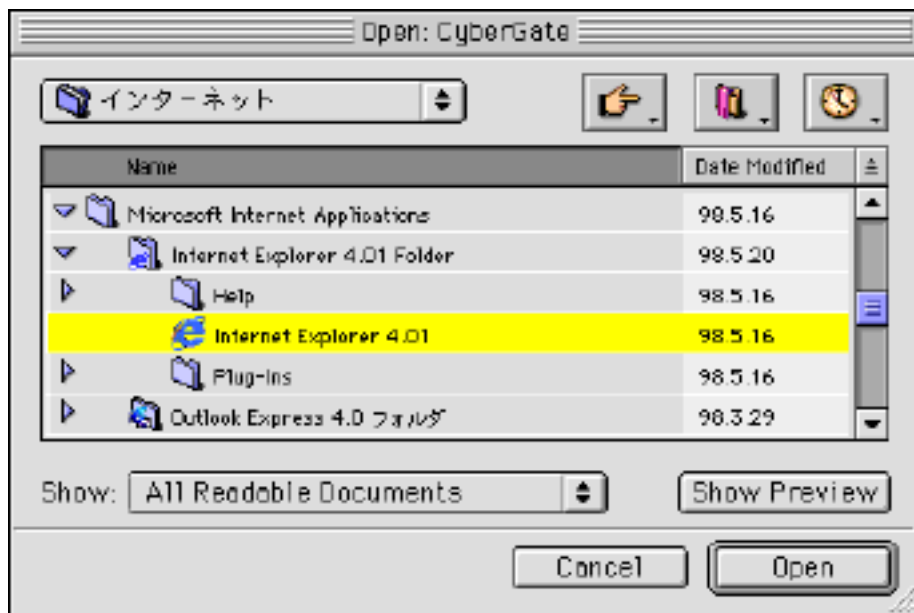


図 B : Navigation Service によるファイル選択ダイアログ

19. ユーザ登録の手順

1) シェアウェアについて

CyberGate はシェアウェアとして配布されています。2 週間の試用期間の後、引き続きご利用になる場合にはお手数ですがシェアウェア代金をご送金いただき、ユーザ登録にご協力いただきますようお願いいたします。試用期間中、CyberGate の機能制限は一切ありませんので、ご自由に試してみてください。また、バージョン 1.X でユーザ登録を完了した方は、引き続き継続使用して下さい。改めてユーザ登録を行う必要はありません。

なお、ユーザ登録に際し、以下の点をご理解頂きますようお願いいたします。

- 1) 現状の機能をもって動作に支障がないことをご自身でご確認下さい。
- 2) CyberGate の不具合により発生した損害に対し一切の保証はいたしません。
- 3) 今後可能な限りサポートを行うつもりですが、その期間について保証はいたしません。

2) ユーザ登録の手順について

シェアウェア代金の送金方法について

シェアウェア代金につきましては決まりはありませんが、NIFTY-Serve の代金代行サービスをご利用になる場合は、システムの都合上 1,000 円固定とさせていただきます。

a. NIFTY-Serve 代金代行サービスを利用する場合：

SW 番号：2868

GO SWREG でご利用いただけます。

b. 銀行振込を利用する場合：

第一勧業銀行 大手町支店

普通預金 1819890

口座名義 清水 友彦 (しみず ともひこ)

電話番号 03-3298-7611

(振込時に必要ですので記載しておりますが、電話でのご連絡には一切応じることはできませんのでご了解下さい)

c. インターネット上の電子決済を利用する場合：

* Pipenet (<http://www.pipenet.com/>)

シェアウェアコード：ABF250-001，決済代金：US\$ 10 固定

登録画面：<https://www23.rapidsite.net/pipene/item/ABF250-001.html>

* NET-U (<http://www.u-card.co.jp/>)

作者番号：S0000383，作品番号：0001，決済代金：1,000 円固定

登録画面：<http://p-reg.u-card.co.jp/>

代金送金の連絡方法について

a. NIFTY-Serve 代金代行サービスを利用する場合：

ご送金頂いた時点で NIFTY-Serve から連絡が当方に来ますので、送金をして頂いた旨のご連絡は一切不要です。

b. 銀行振込を利用する場合：

お手数ですが、電子メールでご送金頂いた旨をご連絡下さい。

c. インターネット上の電子決済を利用する場合：

ご送金頂いた時点でサービス会社から連絡が当方に来ますので、送金をして頂いた旨のご連絡は一切不要です。

3) ユーザ登録番号の返信について

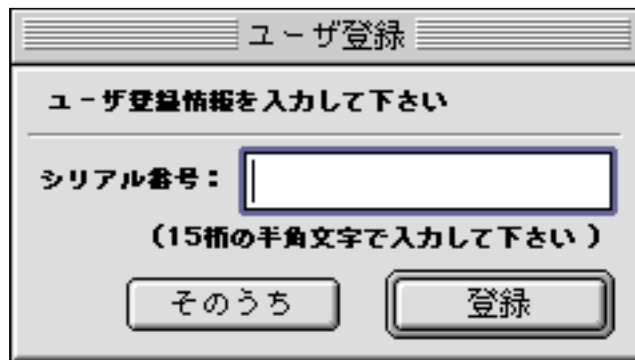
NIFTY-Serve の代金代行サービスまたはインターネット上の電子決済をご利用いただいた方には、NIFTY-Serve の電子メールまたはインターネットメールのアドレス宛にユーザ登録番号を返信させていただきます。

また、銀行口座に振り込んで頂いた方には、頂いた電子メールアドレスにユーザ登録番号を返信させていただきます。

原則として、代金の送金を確認できた後、1,2 日後にはユーザ登録番号を返信しておりますが、当方より連絡がない場合にはお手数ですが電子メールにてご確認をいただきますようお願いいたします。

4) ユーザ登録番号の入力について

CyberGate を起動し、アップルメニューの「ユーザ登録」メニューを選択して下さい。選択後、登録ウィンドウが表示されますので、当方よりお知らせしたユーザ登録番号(シリアル番号)を入力して下さい。入力するシリアル番号は、全て半角文字で 15 桁ですので注意して下さい。ユーザ登録が問題なく入力できれば、「ユーザ登録」メニューは使用不可の状態に変化し、以降ユーザ登録を催促するダイアログ画面は表示しなくなります。



ユーザ登録

ユーザ登録情報を入力して下さい

シリアル番号:

(15桁の半角文字で入力して下さい)

そのうち 登録

3. シリアル番号の保管について

バージョンアップの内容によっては、CyberGate にシリアル番号を入力し直す必要がありますのでご連絡したシリアル番号は別途メモするようお願いいたします。

また、ディスク障害や MacOS のバージョンアップ等で、CyberGate に登録したシリアル番号情報が失われる可能性がありますので、シリアル番号はペーパー等に別途メモして頂きますようお願いいたします。

20. サポートおよび開発環境

1) サポート体制について

CyberGate のバージョンアップは以下のネットワークを利用して実施しております。

インターネット上のホームページ 「THE POOH FILE」

当方で運営しているホームページ上で最新のバージョンアップ情報をはじめ バージョンも一部公開しております。マイナーバージョンアップ版をご希望される方は、ホームページをご活用下さい。

<http://www2.gol.com/users/tomohiko/>

NIFTY-Serve 「FMACUSL フォーラム」

同フォーラムのデータライブラリをお借りして、比較的メジャーのバージョンアップ版を随時登録させていただいております。NIFTY-Serve の場合、登録できるファイル数があまり多くないため、全てのバージョンを登録すると、SysOp さんのメンテナンスに影響を与えることとなります。そこで、特に目立った新機能や致命的なバグフィックス版に限り登録するよう心掛けております。

ご質問・ご意見・ご感想などのフィードバック

電子メールにてお受けしております。特に、改良や改善に対する率直なご意見については大歓迎です。即、対応できるかはお約束できませんが、CyberGate のバージョンアップは、皆様のご意見も参考に実施しております。

なお、本マニュアルのトラブルシューティングに記載している内容と重複するご質問に対しては、ご返答いたしませんので予めご了解下さい。

tomohiko@gol.com (インターネット)

MHF00152 (NIFTY-Serve)

2) 開発について

開発・動作確認を行った Macintosh 環境

Power Macintosh G3 MT 266 (MacOS 8.5 日本語版), Speech Manager 1.5 ,
作業環境マネージャ J1-2.0

PowerBook 520c (MacOS 8.1 日本語版), 作業環境マネージャ J1-1.0.2

InternetConfig 2.0

Open Transport J-1.3 + FreePPP 2.6.2

Open Transport J-1.2 + OpenTransport/PPP J-1.0.1

Open Transport J-1.3 + OpenTransport/PPP J-1.0.1

iMac (MacOS 8.1 日本語版), リモートアクセス J1-3.0(クライアント)

開発環境

CodeWarrior IDE 3.1 (Pro3), ResEdit 2.1.3,

Resorcerer 2.2, PageMill 2.0J, Eudora Pro 3.1.1-Jr1, Eudora Pro 4.01-J,

Internet Explorer 4.01, Netscape Navigator 4.04, Vremya 1.6.5,

クラリスメール Lite 1.1v2(MacOS 8 添付版)

ネットワーク環境

GLOBAL ONLINE Japan (公衆回線接続 22.8Kbps, 33.6Kbps, ISDN 64Kbps)

21. トラブルシューティング

以下の事項と重複するご質問をメール等で頂いても、ご回答はいたしませんので予めご了承下さい。よろしくお願いいたします。

Q1：既に保存しているアクセス情報を削除することができないか。

A1：初期設定フォルダに"CyberGate 設定情報フォルダ"という名称のフォルダがあります。

同フォルダ内に、既に保存済のアクセス情報と履歴情報が対で作成されています。削除したいアクセス情報名が付いているファイルを対でごみ箱に捨てれば削除することが可能です。但し、現在、使用中のアクセス情報を削除すると CyberGate がエラー警告を出しますので、一旦他のアクセス情報に切り替えた後に削除するようにして下さい。

Q2：CyberGate で本格的なフローティングウィンドウをサポートできないのか。

A2：当面、対応する予定はありません。CyberGate の開発版では、フローティングウィンドウ仕様でテストを実施しましたが、動作上、様々な点で問題が指摘されたため、形状のみフローティングライクにしています。使い易さより安定性を優先するという主旨を是非ご理解下さい。この点は、技術的な解決策が見つかるまで対応する予定はありませんので、メール等でご要望なさらぬようお願いいたします。

Q3：現在使用中の PPP ではうまく動作しないようだ。

A3：CyberGate では FreePPP, OT/PPP でのみ動作を確認しております。

現在流通ないしは配布されている PPP のうち、オリジナル版 MacPPP の仕様と異なる仕組みを採用する PPP または MacOS 8 非互換な PPP では動作しません。

Q4：CyberGate が自分の使用する環境で問題なく使用できるか知りたいのだが。

A4：開発過程で動作を確認できる範囲は限られております。そのためこうしたご質問を頂いても、実際に検証することが困難な場合が多々あります。CyberGate は 2 週間の試用期間を設けてありますので、お手数ですがご自身で動作を確認いただきますようお願いいたします。特に、どうすればいいのか、というご質問には環境の違いからお答えできないことの方が多いので、この点のご質問は出来るだけお控え下さい。

また、動作確認前にユーザ登録されましても、当方では一切保証できませんのでご自身の動作確認をもってご判断いただきますよう重ねてお願いいたします。

Q5：経過時間のチャイム音や接続時間の自動保存が設定どおり動作しない時がある。

A5：一定の時間毎に実行する処理は、肝心のネットワーク上の処理を優先する都合から状況に応じて実行しない場合があります。これはバグではなく、CyberGate の仕様ですのでご了解下さい。

Q6：起動用ソフトのアイコンが"?"となることがある。

A6：過去に登録したソフトを削除したりアップデートした場合に発生します。また、一部の使用環境で同現象が多発する旨のレポートを頂いておりますが、詳細の原因が不明です。デスクトップの再構築等、ファインダー回りの改善策を試してみてください。

Q7：インターネット接続時にアクセス情報が不当である旨のエラーが発生する。

A7：CyberGate は OT/PPP,FreePPP が共存する環境を前提にしておりません。OT/PPP 環境 (TCP/IP にて OT/PPP を選択している状態)で作成したアクセス情報を FreePPP 環境で使用すると不当な情報となります。その逆の同様です。いずれか一方の PPP 環境に統一したうえで CyberGate をご利用下さい。

Q8：CyberGate で切り替えたアクセス情報が反映されていない。

A8：CyberGate は現状の TCP/IP,PPP,モデム,FreePPP Setup 等の設定値に影響を与えないように以下のような処理を行っております。つまりアクセス情報を反映するためには、CyberGate を起動したうえでインターネットにアクセスし、アクセス後に CyberGate を終了する必要があります。

CyberGate 起動時に現在の設定値を全て一時保存します。

起動後にアクセス情報を切り替えます。

CyberGate を終了時に、起動時に一時保存した設定値を元の状態に戻します。

Q9：CyberGate でインターネットに接続しようとする時「設定内容が正しくない」旨のメッセージが表示されアクセスできない。または、アクセス情報の設定画面で TCP/IP 他のポップアップメニュー表示が正確に機能しない。

A9：初期設定フォルダ内に日本語版のTCP/IPファイル"TCP/IP 初期設定"と、英語版のファイル"TCP/IP Preferences"他が同時に存在していないか「ネットワーク情報」で確認して下さい。仮に両ファイルが存在している場合には、該当ファイルまたはフォルダをゴミ箱に捨てた後、マックを再起動して下さい。再起動後に、TCP/IP を開き「設定」を選択して正しい設定名を指定し直して下さい。加えて、英語版の該当ファイルまたはフォルダを作成するソフトを確認し、該当ソフトもしくは該当ソフトを支援する拡張機能や起動項目用ファイルを削除して下さい。

なお、英語版の MacOS 8 または JLK を使用しているシステム環境では問題が発生しないものと思われ
れます。

Q10：アクセス情報の設定画面で「アカウント設定」,「使用モデム設定」欄が未定義となる。

A10：コントロールパネル「PPP」で設定が正常に行われていない可能性があります。

MacOS 8 をインストール時に作成される「アシスタント」フォルダ内の「インターネット接続アシスタント」を利用して、インターネット関係の設定を正しく行えば、該当項目に正確な設定名が表示されるはずで
す。

Q11：アクションパネルの機能ボタンを押下すると該当ソフトが見つからないと警告される。

A11：アクションパネルを補完する各ソフトは、デスクトップ・データベースと呼ばれる特殊なファイルに記録されているソフトウェア情報に基づいて起動しています。インストールしているにも拘わらず起動できない場合には、デスクトップを再構築し、デスクトップ・データベースの内容を最新の状態にして下さい。また、各該当ソフトの仕様は使用するバージョンにより異なる場合があります。CyberGate の開発時に採用した各バージョンは、「サポートおよび開発環境」を参照して下さい。

Q12：Eudora Pro,クラリスメール以外のメーラをアクションパネルでサポートしないのか。

A12：現在リリースされている殆どのメーラを確認したところ、アップルスクリプトに対応してメールチェックを実行できるメーラは、Eudora Pro,クラリスメール等です。したがって、他のメーラでは CyberGate が提供するアクション機能を利用することができません。今回調査したメーラは次のとおりです。

"POSTINO classic 1.0.5", "musashi 2.06", "PostPet 1.02 お試し版",
"Eudora-J1.3.8.8r4", "ウィルメール J1-1.1 デモ版", "Dolphin 1.0r4"

Q13：コンテキストメニューの「スクリプトの実行」で動作しない項目がある。

A13：サンプルのスクリプトファイルの一部は MacOS 8 標準の「インターネットスクリプティング」(スクリプティング機能追加フォルダ内)を利用しているものがあります。同スクリプティング機能追加は、「インターネット接続アシスタント」や"InternetConfig"が正しく設定されていないと正常に動作しません。

また、該当ソフトがインストールされていないと、動作しないスクリプトがありますので、各スクリプトのコメント欄で内容を確認して下さい。

Q14：作業環境マネージャはどうすれば入手できるのか。

A14：作業環境マネージャは、MacOS 8 または MacOS 8.1 のシステムソフトウェア CD-ROM に収録されています。MacOS 8.1 アップデータには収録されていません。

MacOS 8 に収録されている作業環境マネージャ J1-1.0.2 は、PowerBook 専用ですのでデスクトップ機では利用できません。一方、MacOS 8.1 に収録されている作業環境マネージャ J1-2.0 以降は、PowerBook, デスクトップ機両方で利用することが可能です。なお、米国アップル社の FTP サイト等から英語版の Location Manager を入手可能ですが、動作確認は行っておりません。

Q15：CyberGate 起動時に作業環境マネージャの切替が失敗した旨のメッセージが表示される。

A15：作業環境マネージャの切替が失敗する主な原因は以下のとおりです。

設定内容が不完全な作業環境情報（具体的な設定がされていない等）に切り替えようとした。

以前にアクセス情報に採用した作業環境情報が既に削除されている。

作業環境マネージャが正常に機能していない。（正しくインストールされていない）

上記 と に関しては「採用した作業環境を破棄する」で解消することが可能です。

Q16：CyberGate がサポートしている機能拡張はどこで入手できるのか。

A16：CyberGate は、作業環境マネージャ、Speech Manager、アップルスクリプト、コンテキストメニュー等、アップル社が提供する最新のテクノロジーをサポートしています。これらの機能は MacOS 8 または MacOS 8.1 の正規ユーザであれば、システムソフトウェア CD-ROM からインストールすることが可能です。なお、現在使用中の環境にインストールされている機能拡張の状況を確認する場合には、ヘルプメニューの「使用環境ヘルプ」が便利です。

Q17：同封のアップルスクリプトファイルが正しく実行できないのだが。

A17：「スクリプト編集プログラム」の編集メニューの「書式」を選択して下さい。表示された

設定画面の「スクリプティング表現形式」が"AppleScript 日本語"になっていると、サンプルスクリプトの一部(URL 情報)が正しく認識されないため発生する不具合です。対策としては、CyberGate のアップルスクリプトメニューの「アップルスクリプト使用言語」で"アップルスクリプト英語"を適用するか、スクリプト編集プログラム上の「スクリプティング表現形式」を"AppleScript 英語"に変更すれば不具合は解消されます。

Q18：複数のアクセス情報を切り替えることができないのだが。(バージョン 3.5.1 以前)

A18：ファイルメニューの「ネットワーク情報」の表示画面を指して、切り替わっていないと仰っていませんか？CyberGate では、インターネットに接続する直前に、指定したアクセス情報の内容に沿ってネットワーク環境を切り替え、CyberGate 終了直前に元の状態に復帰させています。バージョン 3.5.2 より、「ネットワーク情報」の画面構成を一部変更し、現在の設定値と、アクセス情報が記録しているネットワーク環境の両方を表示するように改善しました。

Q19：インターネット上でシェアウェア代金を電子決済する方法が分かりません。

A19：Pipenet (<http://www.pipenet.com/>) または NET-U (<http://www.u-card.co.jp/>) で決済を行うことが可能です。なお、各社毎に決済に必要な手順が異なりますので、詳細については、各社のホームページ等を参照して下さい。

22. CyberGate のファイル構成



1) CyberGate 初期設定 :

CyberGate 共通でひとつだけ作成され、ファイルメニューの「初期設定」で指定した初期設定値などが保存されます。

2) CyberGate 例外設定 :

CyberGate 共通でひとつだけ作成され、ファイルメニューの「例外設定」で指定した時間監視例外設定の内容が保存されます。

3) CyberGate 通信コスト設定 :

CyberGate 共通でひとつだけ作成され、ファイルメニューの「通信コスト設定」で指定した通信コスト管理の内容が保存されます。

4) CyberGate_起動ソフト設定 :

CyberGate 共通でひとつだけ作成され、ファイルメニューの「起動ソフト設定」で指定した起動ソフトの内容が保存されます。

5) アクセス情報ファイル(例 GLOBAL) :

ファイルメニューの「新規アクセス情報」によりアクセス情報を設定する都度作成されます。

6) 接続時間管理ファイル(例 GLOBAL 履歴情報) :

上記アクセス情報ファイルと対で CyberGate が自動的に作成します。同ファイルには各アクセスの接続累計時間が保存されます。

7) その他 :

初期設定ウィンドウ上で、接続時間の自動保存機能を有効にすると一時的にファイルが作成されます。同ファイルは、CyberGate が自動的に処理していますので、通常目にすることはないでしょう。

23. 開発履歴について

1998年10月18日 3.6.2

- 1) MacOS 8.5 日本語版環境で動作確認を実施
- 2) Navigation Service に関する処理を改善
- 3) CyberGateStrip の開発環境を Metrowerks CodeWarrior Professional 3.1 に移行
- 4) 操作マニュアル作成環境を Office98 に移行

1998年09月13日 3.6.1

- 1) iMac (MacOS 8.1 日本語版)の内蔵モデム環境で動作確認を実施
- 2) リモートアクセス J1-3.0(クライアント)に対応
- 3) PowerPC 環境に最適なコードにチューニング
- 4) Metrowerks CodeWarrior Professional 3.1 に開発環境を変更

1998年07月13日 3.6

- 1) Navigation Service(MacOS 8.5 以降)に対応
- 2) InternetConfig 2.0 API をサポートし、プロファイル選択機能を追加
- 3) 環境ヘルプ画面に Navigation Service 項目を追加
- 4) InternetConfig 関連のサンプルスクリプトを追加
- 5) Vremya 関連のサンプルスクリプト内の URL を修正
- 6) Eudora Pro 4.0.1-J にて動作確認を実施

1998年07月05日 3.5.4

- 1) ネットワーク環境のセットアップ処理時間を短縮
- 2) ツールメニューの起動ソフト項目にアイコンイメージを表示
- 3) ネットワーク関連の内部処理を改善

1998年06月21日 3.5.3

- 1) インターネット上のシェアウェア代金決済方式をマニュアルに追加記載
- 2) 自動時刻設定後、アクションパネルが正常にアクティブしない不具合を修正
- 3) 時限表示ダイアログの処理プロセスを改善
- 4) NetChronometer 1.1.0 以上への対応

- 5) サンプルスクリプトに"NetChronometer を入手する"を新規追加

1998 年 06 月 13 日 3.5.2

- 1) ネットワーク情報画面に選択中のアクセス情報の設定値を追加
- 2) 自動時刻設定後、アクションパネルが正常にアクティブしない不具合を修正
- 3) 累計時間の編集機能を新規追加
- 4) 接続時間の編集機能を新規追加
- 5) Metrowerks CodeWarrior Professional 3 に開発環境を変更。
- 6) Universal Headers 3.1 に準拠 (MacOS X 対応)
- 7) NetChronometer への対応準備 (アクションパネル設定, 版のため未対応)

1998 年 05 月 18 日 3.5.1

- 1) CyberGate 専用ダイアログ使用後のウィンドウのアクティブ状態を改善
- 2) ブックマーク作成機能の内部処理を改善
- 3) 操作パネルのアクティベート, アップデート処理時のメモリーリークを防止
- 4) 操作パネルの描写速度を改善
- 5) ムーバブルダイアログ表示中の各ウィンドウ描写の不具合を修正
- 6) CyberGate 接続ダイアログ使用時のアクションパネル描写の不具合を修正

1998 年 05 月 10 日 3.5

- 1) インターネット接続・切断時のダイアログ種類の選択を操作パネル設定に新規追加
- 2) ネットワーク環境の初期化プロセスの実行速度を改善

1998 年 04 月 19 日 3.4.4

- 1) CyberGate Strip にブックマーク作成機能を新規追加
- 2) CyberGate Strip にスクリプト実行機能を新規追加
- 3) CyberGate Strip に回線切断後に CyberGate を終了する機能を新規追加
- 4) アップルイベント経由の回線接続タイミングの不具合を修正
- 5) 接続キャンセル後におけるアップルイベント経由の再接続を可能とするよう改善
- 6) アップルスクリプト, 作業環境マネージャ各メニュー用アイコン番号を変更

1998 年 04 月 12 日 3.4.3

- 1) CyberGate オリジナルのコントロールバー項目を新規追加
- 2) アバウトダイアログにシェアウェア登録のお礼表示を新規追加
- 3) アップルメニューに「最新版を入手する」機能を新規追加
- 4) サンプルスクリプトファイルの記述ミスの一部修正，サンプルを追加

1998 年 03 月 28 日 3.4.2

- 1) アップルスクリプトの使用言語を設定する機能を新規追加
- 2) CyberGate 専用ヘルプの内容を充実
- 3) コンテキストメニューのスクリプト実行項目を実行できない不具合を修正
- 4) スクリプト表現形式を設定する機能を追加
- 5) サンプルのスクリプトファイルを追加

1998 年 03 月 23 日 3.4.1

- 1) スクリプト専用メニューをメニューバーに新規追加
- 2) 作業環境マネージャ項目をコンテキストメニューに新規追加
- 3) ヘルプメニューに CyberGate 専用ヘルプ項目を新規追加
- 4) 作業環境情報が変更または削除されている場合の対応を改善
- 5) 作業環境マネージャメニューの状態表示を改善
- 6) 作業環境マネージャの内容をメニュー表示に即時反映するよう改善
- 7) CyberGate の起動プロセスを改善

1998 年 03 月 22 日 3.4

- 1) 作業環境マネージャを新規サポートし専用メニューを追加
- 2) アクセス情報に作業環境情報を保存し切り替える機能を新規追加
- 3) Speech Manager 環境を破棄した後，サウンド効果が一部機能しない不具合を修正

1998 年 03 月 09 日 3.3.1

- 1) アクションパネルにスクリプト実行ボタンを新規追加
- 2) G3 環境にて動作確認を実施

1998 年 03 月 01 日 3.3

- 1) 操作パネル上でコンテキストメニューをサポート

- 2) アップルスクリプトファイルの実行機能を新規追加
- 3) サンプルスクリプトファイルを収録
- 4) 接続履歴データの移行用ダイアログで FinderPop に対応

1998 年 02 月 15 日 3.2.2

- 1) アクションパネルのアクティベート処理の不具合を修正
- 2) 時刻調整結果ダイアログを表示する際に CyberGate をフロントに移行するよう改善
- 3) アクションパネルの機能ボタン押下時にサウンド効果またはスピーチ効果を追加
- 4) MacOS 8.1 日本語版にて動作確認を実施

1998 年 02 月 11 日 3.2.1

- 1) メールチェックにクラリスメールを追加
- 2) アクションパネル表示時にリターンキー等による接続ができない不具合を修正
- 3) 時刻調整完了時などにチャイム音を鳴らすよう改善
- 4) アップルイベント処理を中心にプログラム内部の手続きを一部改善
- 5) Appearance Manager 1.0.2 環境にて動作確認を実施

1998 年 02 月 09 日 3.2

- 1) ボタン押下だけで操作ステップを省略できるアクションパネルを追加
- 2) アクションパネル上の機能ボタンの仕様を変更する設定機能を追加
- 3) Eudora Pro 向けのメールチェック用アクション機能を追加
- 4) Web ブラウザ向けのブックマークファイル作成用アクション機能を追加
- 5) Vremya 向けの時刻調整用アクション機能を追加
- 6) CyberGate 起動時にネットワーク初期化用ダイアログ表示を追加

1998 年 02 月 02 日 3.1

- 1) 通信コスト管理にて従量制課金を採用するプロバイダに対応
- 2) 操作パネルの拡張タイプとして起動ソフト用ボタン 2 段仕様を新規追加
- 3) 操作パネルのアクセスボタン仕様を変更する設定機能を新規追加
- 4) Speech Manager を新規サポート
- 5) 操作パネル押下時に Speech 機能で喋る機能を新規追加
- 6) ネットワーク接続・切断状況を Speech 機能で知らせる機能を新規追加

7) MacOS 8.1 ならびに OpenTransport 1.3 環境にて動作確認を実施

1998 年 01 月 13 日 3.0.1

1) FinderPop 1.5.5 等で起動ソフトが選択できない非互換を改善

1997 年 12 月 28 日 3.0

1) バージョン 3.0 正式版リリース

1997 年 11 月 30 日 3.0f1

- 1) ツールメニューのウィンドウ表示機能における不具合を修正
- 2) 初期設定ウィンドウでデフォルトボタン押下時の不具合を修正
- 3) 履歴ファイルの移行手順にファイル指定に関するコメントを追加
- 4) 内部コードを簡略化しメモリ使用量を一部削減
- 5) 開発環境を CodeWarrior Professional 2 にアップデートしてコンパイル

1997 年 11 月 30 日 3.0b5

- 1) ネットワーク情報画面に重複ファイル・フォルダ確認メッセージ欄を追加
- 2) 特定の時間帯でコスト管理が機能しない不具合を修正

1997 年 11 月 24 日 3.0b4

- 1) 状態パネル表示の送受信の負荷グラフを改善し秒単位の送受信状態をバー表示
- 2) 初期設定における最大負荷値のデフォルトを 34KBytes に修正
- 3) 状態パネル表示ならびに初期設定に関するマニュアル表記を修正

1997 年 11 月 17 日 3.0b3

- 1) インターネット接続時のエラー検出を細分化しエラー表示を強化
- 2) アクセス情報の切替機能を無効にする初期設定内容を追加
- 3) 旧 CyberGate 用の接続履歴データを移行する機能を追加
- 4) PowerBook 機の一部でアクセス情報のポップアップメニュー表示の不具合を修正

1997 年 11 月 10 日 3.0b2

- 1) 接続履歴閲覧のボタン押下の不具合を修正
- 2) 接続履歴閲覧の表示をテキスト形式からリスト

形式に変更

- 3) 全ソースコードを見直しの約 10%のコード量を削減
- 4) アップルスクリプト"OpenNet","CloseNet"を新規サポート
- 5) 登録ソフト未定義時の起動用ボタン処理における不具合を修正
- 6) 操作マニュアルをバージョン 3.0 の仕様に応じて新規作成

1997 年 11 月 01 日 3.0b1

- 1) Open Transport API に完全対応し TCP ファイル・アップルスクリプト処理を廃止
- 2) FreePPP と OT/PPP の処理ルーチンの統合し設定情報を整理
- 3) FreePPP 2.5 API をサポートし PowerPC 環境で利用可能とする

1997 年 10 月 18 日 2.5.1

- 1) View メニューに起動項目を 5 つ追加
- 2) File メニューに起動項目の設定機能を追加
- 3) CyberGate の小アイコンならびに書類アイコンの形状を変更

1997 年 09 月 26 日 2.5

- 1) MacOS 8 対応としてバージョン 2.5 を正式リリース

1997 年 09 月 22 日 2.5b9

- 1) ムーバブルダイアログの後方にあるウィンドウ更新処理を改善
- 2) Appearance Mgr 移行環境
- 3) PDF 形式による操作マニュアルを同封

1997 年 09 月 14 日 2.5b8

- 1) 操作パネルの表示フォントを変更できるよう改善
- 2) 全ての操作パネルの表示位置を初期値に戻す機能を追加
- 3) その他のウィンドウを Appearance Mgr 対応し移行完了

1997 年 08 月 18 日 2.5b7

- 1) OT/PPP 用の状態表示パネルを Appearance Mgr 対応
- 2) その他のウィンドウを Appearance Mgr 対応し移行率 98%

3) OT/PPP 環境にてアイコンのバックグラウンド処理を無効化

1997 年 08 月 11 日 2.5b6

- 1) 操作パネルのアイコンボタン描写の不具合を修正
- 2) 操作パネル切替時のアイコンボタン処理を改善

1997 年 08 月 11 日 2.5b5

- 1) 連続アクセスの際，送受信データ値が不正になる点を修正
- 2) コスト管理ウィンドウを Appearance Mgr 対応
- 3) PPP 状態表示ウィンドウを Appearance Mgr 対応
- 4) 操作パネルにおけるアイコンボタンのフィードバック処理を確立

1997 年 08 月 10 日 2.5b4

- 1) サーバー情報設定画面のアイコン等の表示を MacOS 8 対応
- 2) 操作パネルのアイコンボタンを MacOS 8 対応
- 3) ソースコードの 90%を Appearance Mgr 対応に移行

1997 年 07 月 29 日 2.5b3

- 1) CyberGate 2.1.2 にて実施したバグ対応内容を反映
- 2) MacOS 8 システム用フローティングウィンドウを採用
- 3) MacOS 8 システム用ムーバブルダイアログを全面採用

1997 年 07 月 29 日 2.5b2

- 1) Preference におけるパスワードの再入力時の不具合を修正
- 2) Edit OT/PPP Config におけるパスワード表示の不具合を修正
- 3) 大半のダイアログ表示にて自動サイズ調整機能(MacOS 8)を追加
- 4) パスワード入力専用ダイアログの不具合を修正

1997 年 07 月 27 日 2.5b1

- 1) Appearance Manager への対応を開始 (移行率 60%)

1997 年 08 月 03 日 バージョン 2.1.2fr, 2.1.2 (68K)

- 1) FreePPP 2.6b7 にて状態パネルで送受信情報の不具合を修正
- 2) FreePPP 2.6b7 にて"Set TCP/IP Config"メニューの不具合を修正

1997年07月24日 バージョン 2.1.1fr, 2.1.1 (68K)

- 1) 68kバージョンの環境チェックの不具合を修正
- 2) マニュアルの記載事項を一部変更

1997年07月23日 バージョン 2.1fr, 2.1 (68K)

- 1) 開発環境を CodeWarrior Professional 1 に変更
- 2) MacOS 8 の Appearance 対応としてボタンコントロールを標準仕様に変更
- 3) MacOS 8 英語版にて動作確認を実施
- 4) 操作マニュアルの操作性を一部改善
- 5) 通信コスト管理記録を接続履歴に追加するよう改善
- 6) "Set TCP/IP Config"メニューの有効条件を OT 環境全般に拡大

1997年06月01日 バージョン 2.0fr, 2.0 (68K)

- 1) トラブルシューティングの内容を4項目追記

1997年04月27日 バージョン 2.0b3 (fat)

- 1) OT/PPP用の状態パネル表示の有無に関する不具合を修正
- 2) 状態パネル表示リソースの一部不具合を修正

1997年04月24日 バージョン 2.0b2 (fat)

- 1) 回線切断時, OT/PPP, FreePPP 2.6 の状態パネルを初期値に復帰
- 2) OT/PPP の状態パネルで IP アドレス情報が一部欠ける不具合を修正
- 3) 状態パネル表示のステップ数を減らし処理効率を向上
- 4) 回線接続時の送受信負荷バー表示のアップデートを改善
- 5) FreePPP 2.6 の状態パネルの表示値の一部不具合を修正
- 6) Set ConfigPPP メニュー項目を環境に応じて変更

1997年04月20日 バージョン 2.0b1 (fat)

- 1) OT/PPP の状態パネルの仕様を全面的に変更(Kaleidoscope 対応を含む)

- 2) FreePPP 2.6 の状態パネルの仕様を全面的に変更(Kaleidoscope 対応を含む)
- 3) Thread Manager のチェック機能を外す (漢字 Talk 7.1 対応)
- 4) 環境に合わせた TCP と PPP のボタンアイコンを表示するよう改良
- 5) 最大負荷値を設定する項目を初期設定に追加
- 6) MacTCP の設定保存・切替プロセスを改良
- 7) OpenTransport のサーバー切替方式を全面修正 (OT 互換)
- 8) OpenTransport のサーバー選択メニューを新規追加
- 9) 接続時のアニメーションアイコン表示を新規追加 (GWorld 対応)
- 10) CyberGate 起動時に適切な TCP サーバー情報に切り替えるよう修正
- 11) 回線接続・切断時のメニュー表示状態を適切な内容に修正
- 12) 初期設定ファイル作成時におけるコスト管理パネル表示の不具合を修正
- 13) 自動接続を解除した際、メッセージを表示するよう改善
- 14) サーバー情報に履歴を追加し、旧ファイルの使用を制限するよう修正

1997 年 03 月 20 日 バージョン 1.5fr, 1.5 (68K)

- 1) 日本語版 OT/PPP に対応
- 2) OT/PPP の接続監視プロセスを簡略化しネットワークへの影響を改善
- 3) 小アイコンの一部を修正

1997 年 03 月 18 日 バージョン 1.5b16, 1.4.9

- 1) コスト管理の料金更新処理を改良し、より正確な表示内容に改善
- 2) 行方不明の起動ソフトを再設定する機能を追加

1997 年 03 月 08 日 バージョン 1.5b15

- 1) Power Macintosh 7600/200 環境で起動時にフリーズする不具合を解消
- 2) ファイル検索関連の Call Routine を全て同期方式に変更
- 3) Open Transport/PPP の環境チェックを Gestalt 値の検証方式に変更
- 4) 履歴管理ウィンドウ内の使用フォントを Osaka-均幅に変更

1997 年 03 月 04 日 バージョン 1.5b14

- 1) OT/PPP 環境で使用できない不具合を解消

1997年03月04日 バージョン 1.5b13

縁起の悪い開発バージョンのため欠番。

1997年03月03日 バージョン 1.5b12

- 1) CyberGate 起動時に自動接続する設定値を追加
- 2) システム標準のフローティングウィンドウぬ変更可能な設定値を追加
- 3) ソフト起動時に同一ソフトで別の書類を開けない不具合を修正
- 4) ソフト起動時に一部書類を開けない不具合を修正
- 5) Universal Headers 2.1.4 のプロトタイプ宣言に完全対応

1997年02月10日 バージョン 1.5b11

- 1) 通信コスト管理機能で数字入力時の不具合を改善
- 2) 通信コスト管理機能で初期値の1分間の他, 3分間監視を追加
- 3) 開発環境をCW11に変更

1997年01月26日 バージョン 1.5b10

- 1) 通信コスト管理機能を新規追加
- 2) 内部コードを一部改善

1996年12月24日 バージョン 1.5b9, 1.4.8

- 1) FreePPP 2.6a4 の API に対応
- 2) Open Transport 環境で FreePPP 2.6 以上, OT/PPP の重複環境に対応
- 3) ステータス画面をアクセサリ形式から影付き形式にウィンドウ形状を変更
- 4) FreePPP 2.6 以上で状態パネルを新規追加
- 5) OT/PPP の状態パネルの更新方式を改善し負荷軽減を図る
- 6) Open Transport 1.1.2 にて動作確認

1996年11月24日 バージョン 1.5b8

- 1) Thread Manager が速度低下を招くため非対応とする

1996年11月20日 バージョン 1.5b7

- 1) OT/PPP 環境下でワンタッチ接続・切断ができない不具合を修正

- 2) FreePPP2.6a3 環境下でワンタッチ接続・切断ができない不具合を修正
- 3) "Edit OT/PPP Config"でパスワードが一部保存できない不具合を修正

1996年11月17日 バージョン 1.5b6

- 1) OT/PPP 環境下で操作パネルのアイコン描写を固定
- 2) OT/PPP の設定パネル上でパスワードをドットマーク表示に改善
- 3) 漢字 Talk 7.5.5 環境で動作確認を実施

1996年11月15日 バージョン 1.5b5

- 1) ダイアログ関係の内部的処理を一部改善
- 2) CyberGate 起動時の TCP/IP チェック方式を変更
- 3) TCP/IP ロードをチェックする Gestalt の selector を変更

1996年11月14日 バージョン 1.5b4

- 1) 漢字 TALK で日本語の Dialect を使用中 OT/PPP を制御できない不具合を修正
- 2) スクリプト表現形式の自動保存・復帰機能を追加

1996年11月12日 バージョン 1.5b3

- 1) OT/PPP の警告音を廃止し起動時のスクリプト環境チェックに変更
- 2) Tread 内部でアップデート処理が優先してしまう不具合を修正
- 3) FreePPP 2.6a3 で動作確認を実施 (OTP 1.1.1 環境のみ)
- 4) FreePPP 2.6a3 でアカウント情報を切り替える機能を追加
- 5) FreePPP 2.6a3 でサーバー接続時に発生する時間監視の不具合を修正

1996年11月10日 バージョン 1.5b2

- 1) Thread Manager に対応しアイドリングの負荷を軽減
- 2) OT/PPP 状態パネルのフォントスタイルをプレーンに変更

1996年11月02日 バージョン 1.4.7, 1.5b1

- 1) PowerPC 環境に対応した fat binary 仕様に変更 (1.5b1)
- 2) OT/PPP のアップルスクリプトに対応
- 3) OT/PPP サポートに必要な設定機能・状態パネルを追加

- 4) 使用環境チェックに伴うエラー内容をより細分化
- 5) Open Transport 対応のロード情報を追加
- 6) 接続時間の自動保存機能で不当な値に更新する不具合を修正
- 7) 操作パネルウィンドウのアクティベート処理を改善
- 8) FreePPP 2.6a2 の公開 API に一部対応 (動作未確認, 1.5b1)
- 9) 接続時間例外設定機能を新規追加
- 10) メニュー表示項目名称の一部変更・追加
- 11) 新規サーバー設定をキャンセルすると起動ソフト情報が消失する点を修正
- 12) IC 代行ヘルプアプリを操作パネル上にアイコン表示するよう改善
- 13) 接続時間リセット時に最大接続時間監視をクリアするよう修正
- 14) TCP 初期設定ファイルをファイル名で検索する機能を新規追加
- 16) 操作マニュアルを HyperCard から HTML 書類形式に変更
- 17) 開発環境を CW10 に変更

1996 年 9 月 14 日 バージョン 1.4.6

- 1) 起動時の内部的な処理を修正
- 2) Internet Config 1.3 に対応

1996 年 8 月 11 日 バージョン 1.4.5

- 1) ファイル読み出し時の内部プロセスを改善 (1.4.1)
- 2) 開発環境を CW9 に変更 (1.4.1)
- 3) ConfigPPP の設定内容を読み取るプロセスを改善 (1.4.2)
- 4) TCP(サーバー)切替機能を無効にする初期設定オプションを追加 (1.4.2)
- 5) メニューリソースに不当なリソースピットを使用していた不具合を修正 (1.4.3)
- 6) パスワードに関する処理の不具合を修正 (1.4.4)
- 7) 最大時間監視機能の処理方法を修正ならびに変更 (1.4.4)
- 8) 接続時間の自動保存機能が正確に動作しない不具合を修正 (1.4.5)
- 9) 接続時間の自動保存処理を実行する時間間隔を設定できるよう改善 (1.4.5)
- 10) 開発環境を CW9 の最新バージョン(CodeWarrior IDE 1.6.3)に変更 (1.4.5)

1996 年 5 月 26 日 バージョン 1.4

- 1) 起動アプリケーションを任意に 3 種類設定できるよう改善。

- 2) 起動アプリケーションのアイコンがボタン表示できるよう改善。
- 3) ConfigPPP/FreePPP Setup を自動認識する機能追加。
- 4) 接続時間の自動保存機能を追加。
- 5) パスワード処理を内部的に改善。
- 6) メモリ処理をはじめとする内部処理プロセスの改良。
- 7) 各種インターフェースを見栄えのよい内容に変更。
- 8) 警告用ダイアログ以外のダイアログをムーバブル仕様に改善。

1996年4月7日 バージョン 1.3

- 1) ConfigPPP の設定情報を CyberGate で切替できるよう機能追加
- 2) 累計接続時間がクリアできない不具合を修正
- 3) サーバー関連のメニュー項目を正しい順番に修正
- 4) 使用メモリ容量を最小 256KB, 推奨 384KB に変更
- 5) ネットワーク確立中は PPP 情報を切替不能となるよう改善 (1.3.1)
- 6) メニュー項目の綴りの誤りを修正 (1.3.2)
- 7) 開発環境をバージョンアップし再コンパイル・リンカーを実行

1996年3月26日 バージョン 1.2

- 1) 接続時間の履歴保存日に接続時間の表示が毎回クリアされる不具合を修正
- 2) Operation window の背景色をカスタムパターンに変更
- 3) 最大接続時間の警告処理を修正

1996年3月24日 バージョン 1.1

- 1) Internet Config の API に対応
- 2) Internet Config 側で設定済のヘルパーアプリケーションのメニュー表示を追加
- 3) Internet Config, ヘルパーアプリケーションの起動機能を追加
- 4) Internet Config 側で設定済のヘルパーアプリケーションを代行起動ソフトとして設定
- 5) サーバー切替時に起動ソフトが正常に変更されない不具合を修正

1996年3月23日 バージョン 1.0

- 1) フローティング仕様から通常のウィンドウ仕様に変更
- 2) リターンまたはエンターキーでサーバー接続・切断操作を代行可能とする
- 3) 使用メモリ容量を最小 128KB, 推奨 256KB に変更
- 4) サーバー切替時、接続累計時間を正確に記録しない不具合を修正
- 5) サーバー切替時、TCP がロード済みの対処を改善
- 6) 初期設定ダイアログの不具合を修正
- 7) Operation window の表示位置が記録されない不具合を修正

1996 年 3 月 16 日 テストバージョン b4

- 1) 接続時間を履歴に保存する際フリーズする不具合を修正
- 2) 接続時間を履歴に保存する際累計時間が不当にクリアされてしまう不具合を修正
- 3) 使用メモリ容量を 256KB から 384KB に変更

1996 年 3 月 16 日 テストバージョン b3

- 1) サーバー個々の切替時の不具合を修正
- 2) PPP でダイアリング中にキャンセルするとフリーズとなる不具合を修正

1996 年 3 月 15 日 テストバージョン b2

- 1) アラーム間隔が固定されてしまう不具合を修正
- 2) 接続時間の履歴保存時に累計時間をクリアしない不具合を修正
- 3) 起動アプリケーションの選択で書類も指定できるよう改善
- 4) 初期設定の履歴処理の不具合を修正
- 5) ソフト起動機能で既に起動済のソフトへの対応を改善
- 6) View メニューを追加しウィンドウに関する随時変更が可能となるよう改善
- 7) Operation window の形状を 2 種類 (Expand/Shrink) で切替可能に改善
- 8) Operation window 表示の有無をサポートするメニュー項目を追加
- 9) アラーム間隔の設定を矢印に変更し任意の数値を設定可能に改善
- 10) 関連ソフト起動をメニューからも実行できるよう改善
- 11) 月間の最大接続時間を越えた際に警告を出す機能を追加
- 12) アイコンボタンのクリック処理を改善

1996 年 3 月 9 日 テストバージョン b1 をリリース

1) CyberGate のテスト用 版を作成しホームページにて公開